

景気動向調査結果

(令和4年7月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 4 年 7 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 4 年 8 月にヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、445 社（製造業 240 社（うちヒアリング 59 社）、非製造業 205 社）で、回答率は 63.6 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2925）

非製造業について

長野県産業労働部経営・創業支援課（TEL 026-232-0111 内線 2961）

令和4年7月の景気動向

1 総論

長野県経済は、原油・原材料価格高騰等の影響により厳しい状況が続き、回復に向けた動きに一服感がみられます。先行きについては、これらの影響に加え、原材料の供給不安や、円安の進展の長期化等が懸念されます。

製造業の業況は、国内外の需要が堅調に推移している一方、原油・原材料価格の高騰や供給制約の他、円安の進展の影響が顕在化し、一般機械や自動車部品などで先行き不透明感が強まっていることから、製造業全体では6期ぶりにマイナス水準となりました。

非製造業の業況は、建設業で資材価格の高騰の影響が見られたものの、総じて持ち直しの動きが見られました。その一方で、飲食業等では新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響を受けて業況が悪化傾向となり、非製造業全体では2期ぶりのマイナス水準となりました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（令和3年7月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は▲1.2となり、前回調査時（令和4年4月）の16.9から18.1ポイント悪化しました。

3か月前（令和4年4月）と比較したD Iは▲1.2となり、前回調査時の▲1.7より0.5ポイント改善したものの、3期連続のマイナス水準となりました。

また、3か月後（令和4年10月）の予想では、D Iは▲5.1となり、2期連続のマイナス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは法人向け需要及び個人の在宅需要が牽引し、受注、生産が堅調に推移しています。プリンターも同様の状況から、受注、生産ともに堅調に推移しています。半導体関連は、国内外の半導体需要の高まりにより、情報通信関連向けや自動車関連向けが中心となって、受注、生産が増加しています。抵抗器・コンデンサ等は、国内外の需要の増加により、主として自動車関連向けで、受注、生産が堅調に推移していますが、供給面での制約が懸念され、先行き不透明な状況に直面しつつあります。

イ 一般機械では、工作機械は、国内向け設備投資の増加や、パソコン、タブレット関係が牽引し、受注、生産に増加がみられるものの、部品の調達やコスト面で先行き不透明感が始まっています。建設機械は、国内向け、海外向けともに受注は堅調に推移していますが、半導体をはじめとする部材の供給面での制約の影響を受け、生産は足踏みがみられます。

ウ 精密では、時計は、海外市場の需要回復が牽引し、コロナ禍前の水準まで回復しつつあり、受注、生産に持ち直しの動きがみられます。レンズは、交換レンズや医療用向けで需要が堅調に推移しており、受注、生産が順調に推移しています。圧力計は、半導体や建設機械関連向けを中心に、受注、生産が順調に推移しています。LPガスメーターは、取替需要のピークが過ぎたことから、受注、生産が減少しています。

エ 自動車部品では、半導体不足等に起因する完成車メーカーの減産により、国内向け、海外向けともに、受注、生産に足踏みがみられます。

オ 食料品では、味そは、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が弱含んでいます。酒類は、清酒やワインは、新型コロナウイルス第7波の影響を受け、受注、生産に弱さが見られます。飲料は、季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が好調に推移しています。

(2) 受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が 33.9%と前回 (43.9%) より減少し、「減少」とする企業が 28.8%と前回 (22.4%) より増加した結果、D Iは前回 (21.5) より悪化し、5.1 となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が 20.3%と前回 (26.2%) より減少し、「減少」とする企業が 21.9%と前回 (16.9%) より増加した結果、D Iは前回 (9.3) より悪化し、 $\Delta 1.6$ となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が 14.6%、「減少」とする企業が 24.9%となった結果、D Iは $\Delta 10.3$ となりました。

(3) 生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が 34.9%と前回 (43.9%) より減少し、「減少」とする企業が 31.9%と前回 (25.3%) より増加した結果、D Iは前回 (18.6) より悪化し、3.0 となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が 21.2%と前回 (28.6%) より減少し、「減少」とする企業が 27.5%と前回 (21.4%) より増加した結果、D Iは前回 (7.2) より悪化し、 $\Delta 6.3$ となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が 20.7%、「減少」とする企業が 20.7%となった結果、D Iは0 となりました。

(4) 製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が 40.9%と前回 (34.0%) より増加し、「安い」とする企業が 4.7%と前回 (3.8%) よりやや増加した結果、D Iは前回 (30.2) より改善し、36.2 となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が 24.7%と前回 (21.5%) より増加し、「安い」とする企業が 2.6%と前回 (3.0%) よりやや減少した結果、D Iは前回 (18.5) より改善し、22.1 となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が 22.0%、「安い」とする企業が 4.3%となった結果、D Iは 17.7 となりました。

(5) 資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が 11.0%と前回 (12.6%) より減少し、「苦しい」とする企業が 12.7%と前回 (13.4%) よりやや減少した結果、D Iは前回 ($\Delta 0.8$) よりやや悪化し、 $\Delta 1.7$ となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が 6.6%と前回 (7.4%) よりやや減少し、「苦しい」とする企業が 11.8%と前回 (8.3%) より増加した結果、D Iは前回 ($\Delta 0.9$) より悪化し、 $\Delta 5.2$ となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が 4.4%、「苦しい」とする企業が 14.1%となった結果、D Iは $\Delta 9.7$ となりました。

(6) 収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が 18.7%と前回 (20.7%) より減少し、「低下」とする企業が 44.3%と前回 (40.9%) より増加した結果、D Iは前回 ($\Delta 20.2$) より悪化し、 $\Delta 25.6$ となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が 11.9%と前回 (11.9%) と同水準で推移する一方、「低下」とする企業が 37.3%と前回 (32.6%) より増加した結果、D Iは前回 ($\Delta 20.7$) より悪化し、 $\Delta 25.4$ となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が 6.9%、「低下」とする企業が 37.5%となった結果、D Iは $\Delta 30.6$ となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、法人向け及び在宅需要が牽引し、受注、生産が堅調に推移しています。プリンター及び関連消耗品については、同様の理由で堅調な推移となっている一方、原材料価格の高騰や原材料の調達難が生産計画に影響を与えている状況も出始めています。

(半導体関連・プリント基板) 車載向けやデータセンター向けが引き続き牽引し、国内外の半導体需要は堅調に推移しており、受注、生産ともに増加傾向にあります。

(抵抗器・コンデンサ等) 車載向けを中心に国内外の需要は堅調に推移していますが、部品供給不足等により先行き不透明な状況に直面しつつあります。

(モーター等) 産業用ロボットや自動機器関連は引き続き好調ですが、部品供給不足等により先行き不透明な状況に直面しつつあります。

(その他) カーナビやカーオーディオについて、半導体逼迫や部品調達不安による影響を受けて減少傾向にあります。

一般機械

(工作機械) 国内向け設備投資の増加の影響や、パソコン及びタブレット関係が好調であることから受注、生産は堅調に推移していますが、部品調達不安や調達コストの増が懸念されます。

(金型) 産業用機械は好調である一方、自動車関係は伸び悩んでおり、全体的には受注、生産に一服感がみられます。

(建設機械) 国内向け、海外向けともに受注は堅調に推移していますが、半導体不足等による部材の供給難により、生産は足踏みがみられます。

(農業用機械等) 受注・販売量は大きな動きはなく、堅調に推移しています。

精 密

(時 計)

腕時計は、海外の需要は回復がみられ、コロナ禍前の水準まで戻りつつあります。国内の需要もコロナ禍前の水準までは至らないものの、受注、生産に持ち直しがみられます。

(レ ン ズ)

交換レンズ関連、医療用関連で需要が堅調に推移しており、受注、生産が順調に推移しています。

(計 器)

圧力計は、半導体・建設機械関連向けを中心に、受注、生産が順調に推移しています。ガスメーターは、取替需要のピークを過ぎたことから、受注、生産が減少しています。

自 動 車 部 品

自動車部品では、半導体不足等に起因する完成車メーカーの減産により、国内向け、海外向けともに、受注、生産に足踏みがみられます。

食 料 品

(味 そ)

季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が弱含んでいます。

(酒 類)

清酒やワインは、新型コロナウイルス第7波の影響を受け、受注、生産に弱さがみられます。

(飲 料)

飲料は、季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が好調に推移しています。

繊 維 ・ 衣 服

季節的要因により、受注、生産に弱さがみられます。

紙 ・ パルプ

ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が好調に推移しています。

印 刷

印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。

そ の 他

プラスチック成型部品は、産業用機械やスマートフォン向けで受注、生産は堅調に推移しています。

3 非製造業

業界の業況

前年同期（令和3年7月）と比較したD Iは $\Delta 7.9$ となり、前回調査時（令和4年4月）の1.0より8.9ポイント悪化しました。

3か月前（令和4年4月）と比較したD Iは $\Delta 15.4$ となり、前回調査時の2.2より17.6ポイント悪化しました。

また、3か月後（令和4年10月）の予想では、D Iは $\Delta 20.8$ となりました。

【主な業種の動き】

ア 建設業

建設業では、資材価格の高騰などの影響が見られたものの、前回調査に比べ受注件数D I、売上高D Iが改善したことから、業況D Iは $\Delta 32.4$ と前回（ $\Delta 35.4$ ）より改善し、6期ぶりの改善となりました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 23.3$ です。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、ソフトウェア関連を中心としたシステム投資は堅調だったものの、ハードウェア関連機器の入荷遅れや電気代などのエネルギーコストの増加で、受注件数D I、収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは $\Delta 8.4$ と前回（0.0）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 16.7$ です。

ウ 小売業

小売業では、巣ごもり消費の減少などにより、売上高D Iが悪化したほか、仕入価格上昇やエネルギーコストの増加などで収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは $\Delta 21.6$ と前回（ $\Delta 15.1$ ）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 26.5$ です。

エ 卸売業

卸売業では、半導体不足による工業製品の入荷遅れなどが影響し、客数D I、売上高D Iが悪化したことから、業況D Iは0.0と前回（13.6）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 16.7$ です。

オ 飲食業

飲食業では、行動制限はなかったものの新型コロナウイルス感染症再拡大による影響で団体利用が減少し客数D Iが悪化したほか、仕入価格上昇やエネルギーコストの増加などで収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは37.5と前回（65.3）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、0.0です。

カ 宿泊業

宿泊業では、新型コロナウイルス感染症再拡大による予約キャンセルが一部で見られたものの行動制限がなかったことから客数D I、売上高D Iはプラス水準を維持しましたが、業況D Iは69.2と前回（73.3）よりやや悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 8.3$ です。

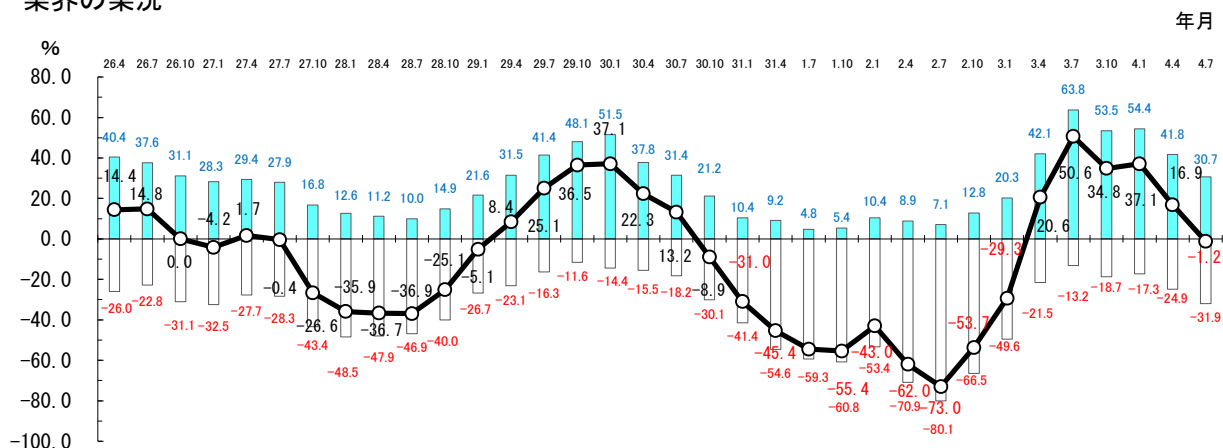
景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

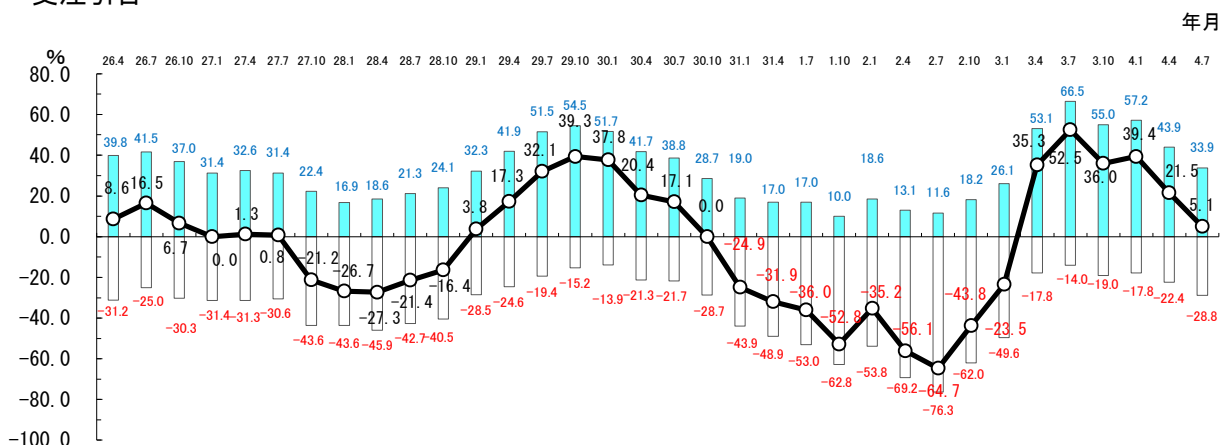
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

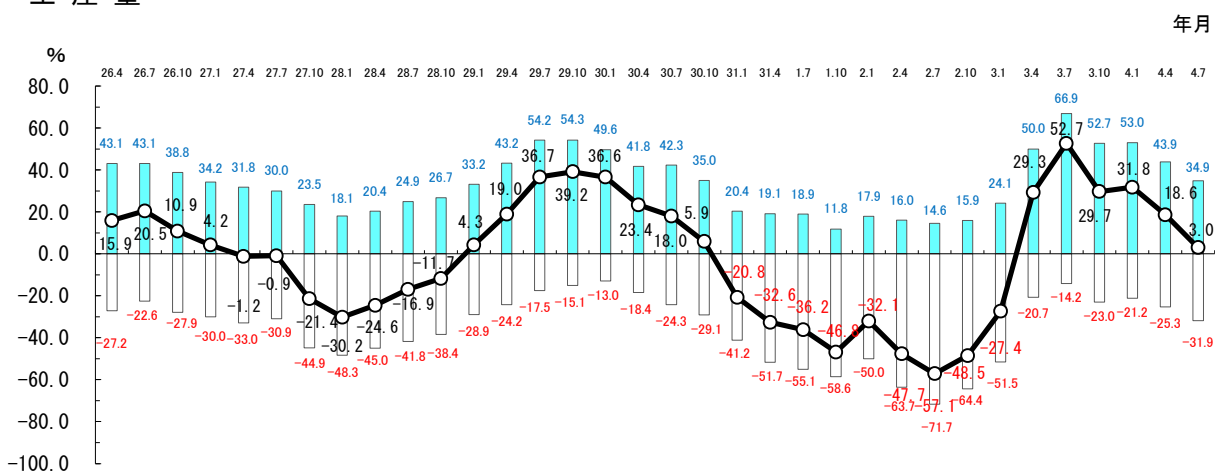
業界の業況



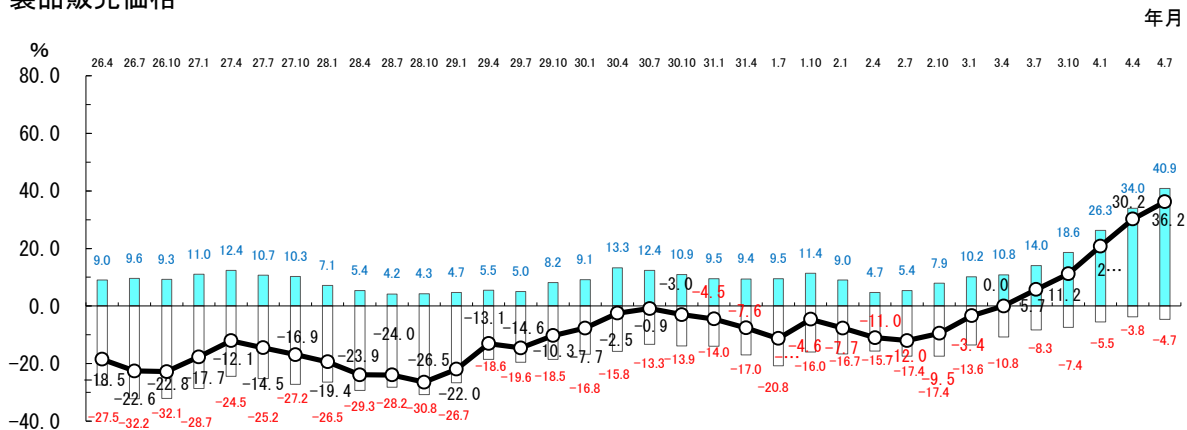
受注引合



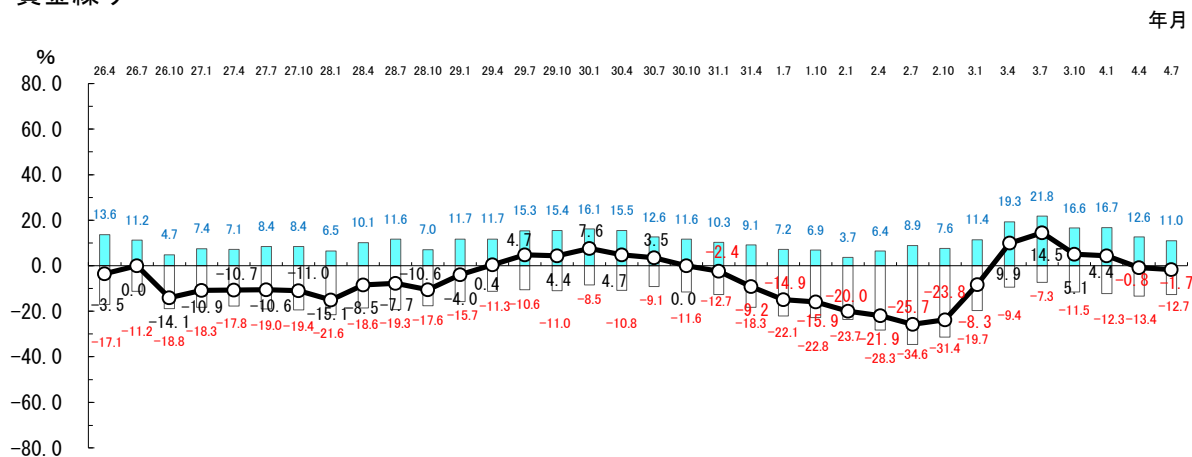
生産量



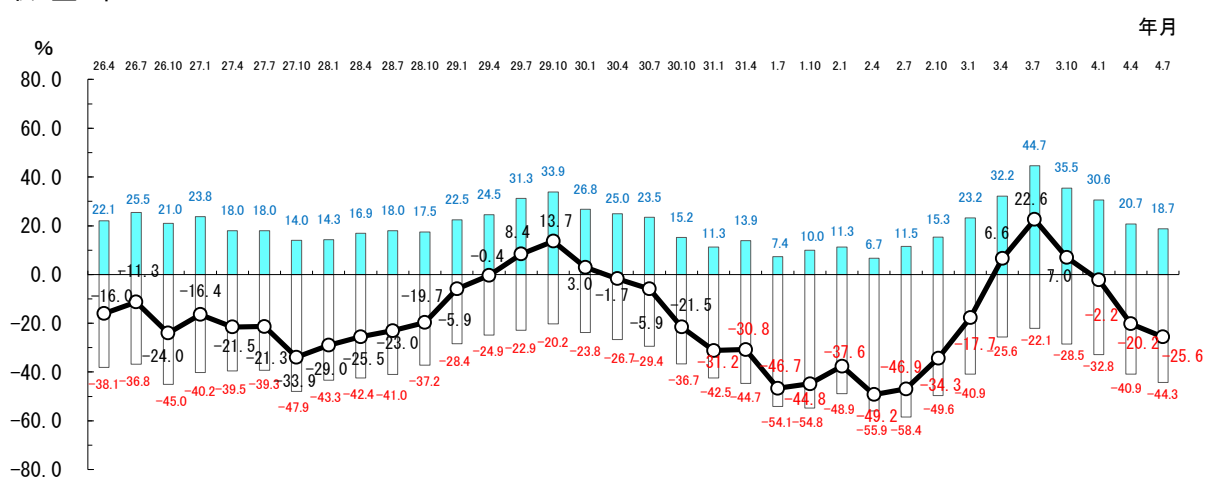
製品販売価格



資金繰り

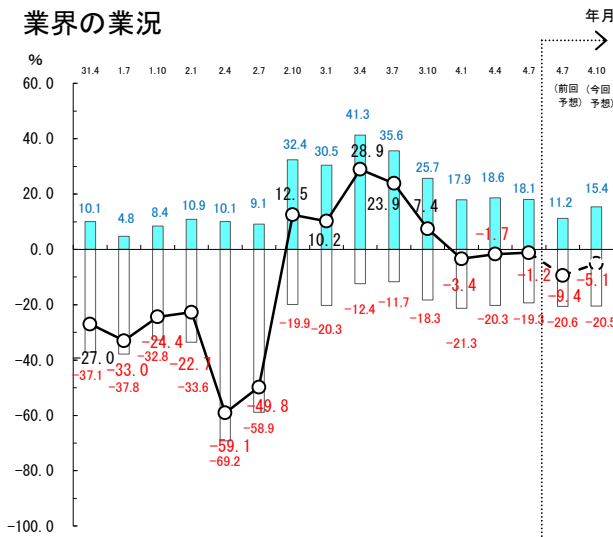


収益率

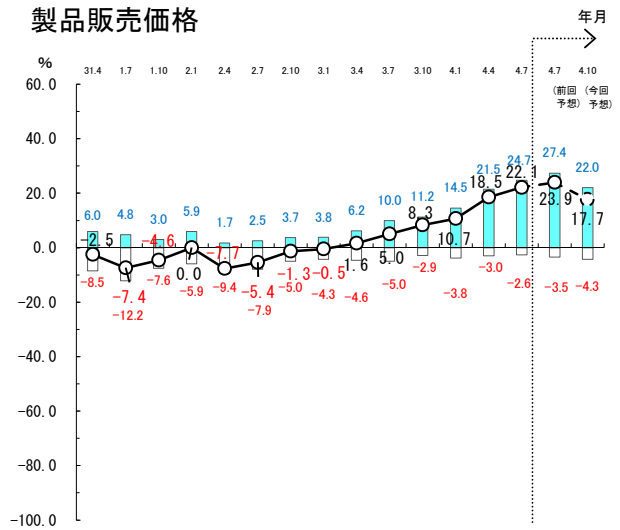


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

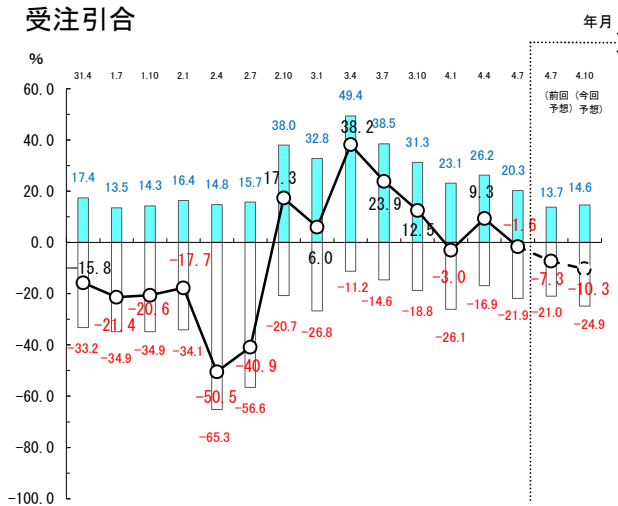
業界の業況



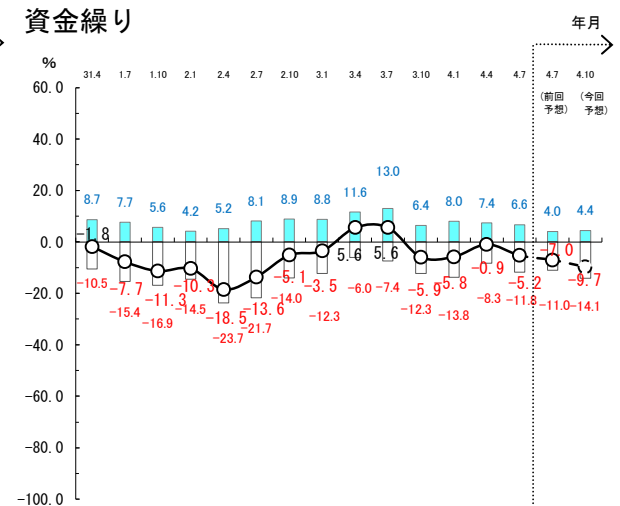
製品販売価格



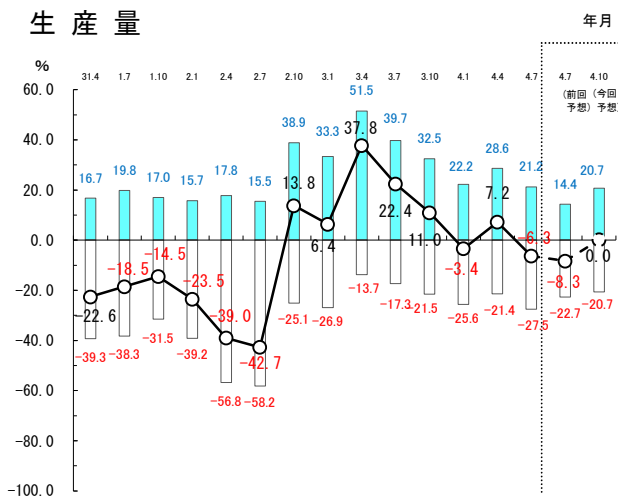
受注引合



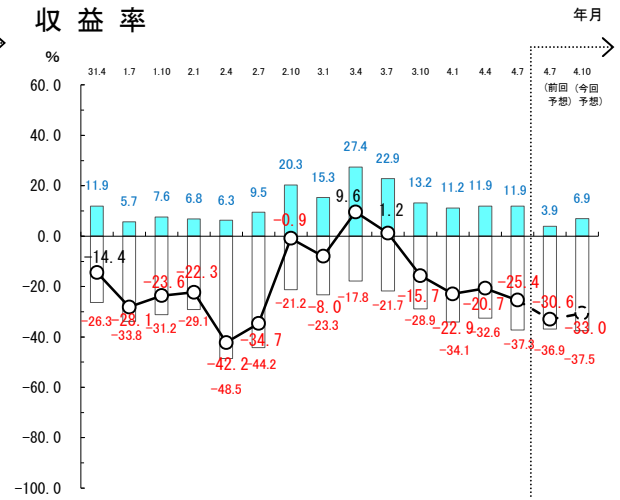
資金繰り



生産量



収益率

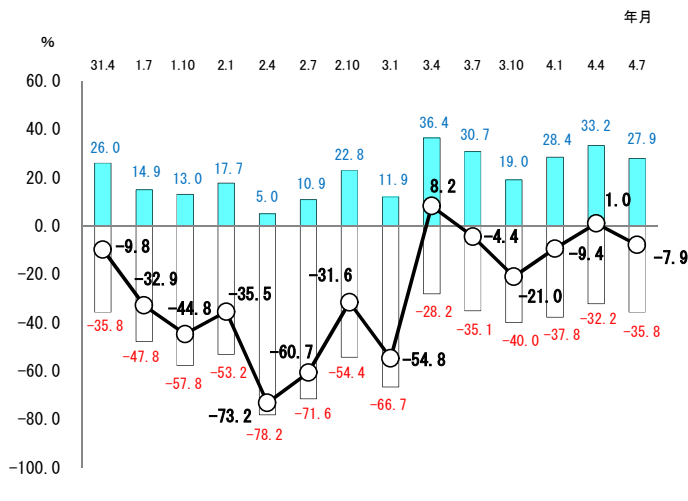


2 非製造業

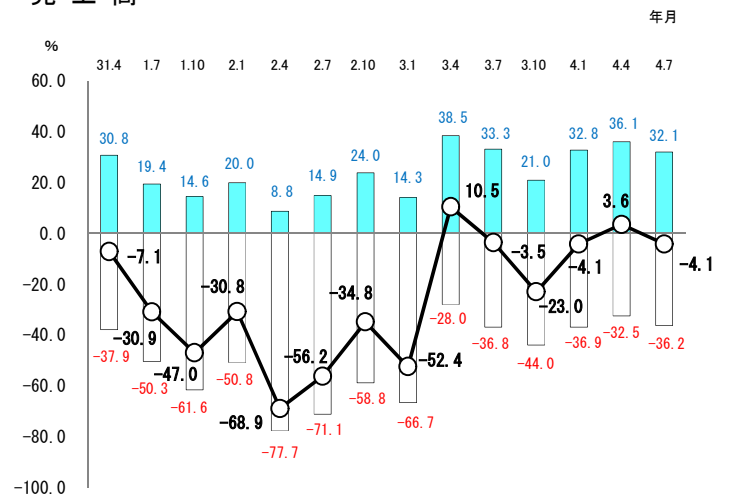
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

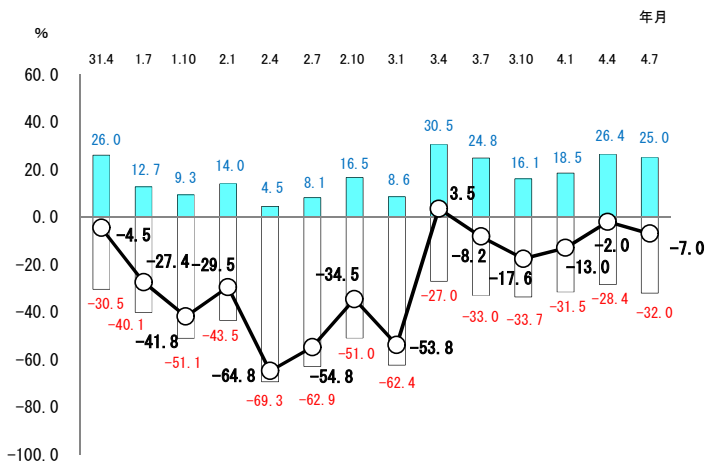
業況



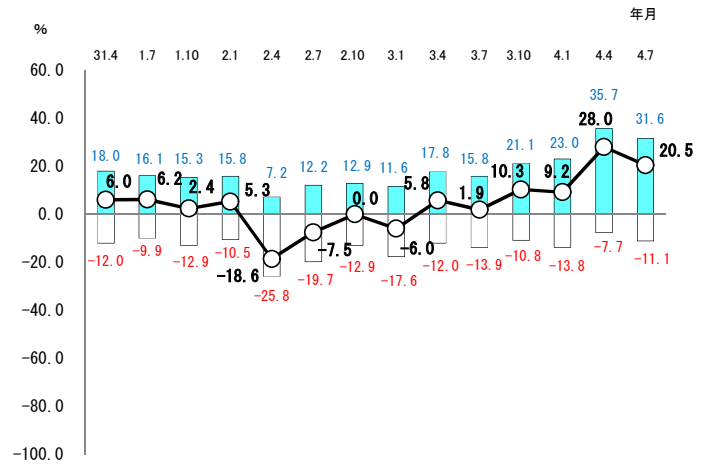
売上高



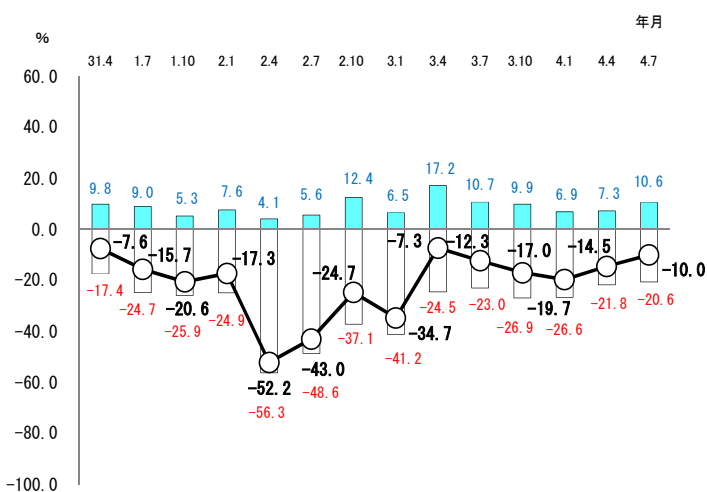
客数 (受注件数・取引先数)



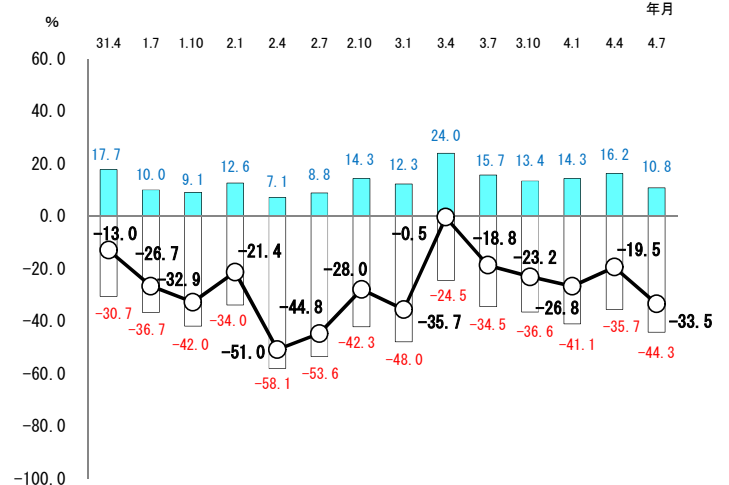
販売価格



資金繰り

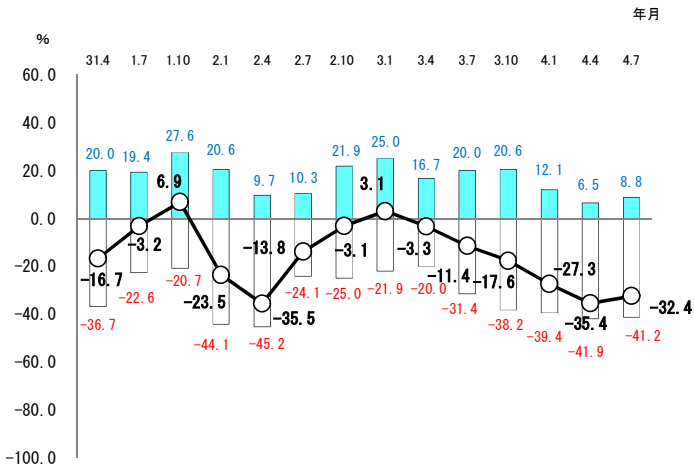


収益率

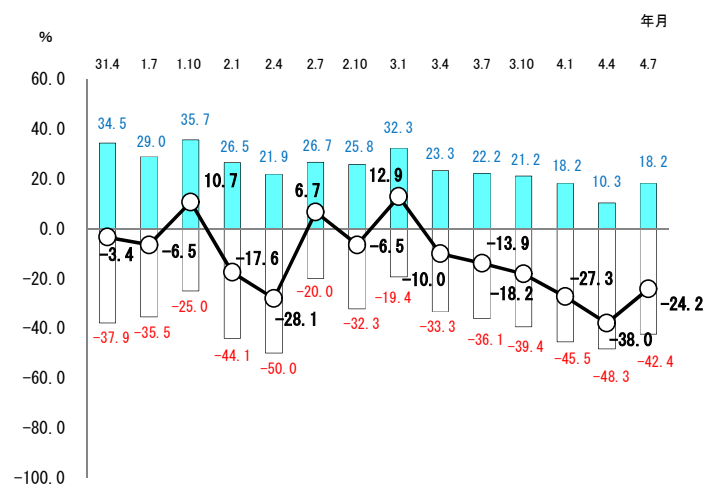


ア 建設業

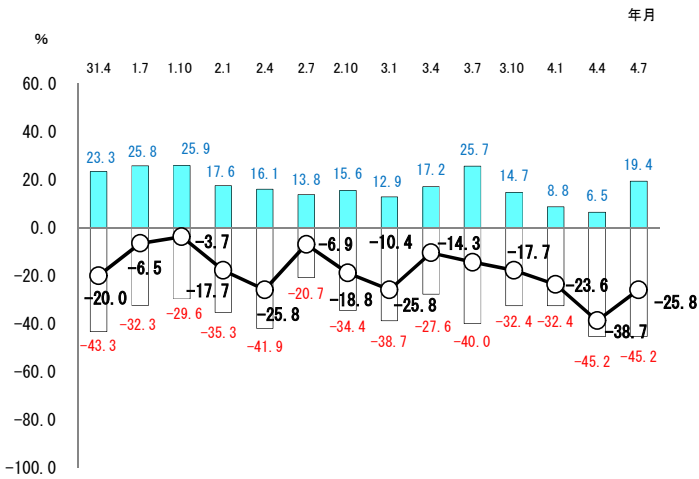
業況



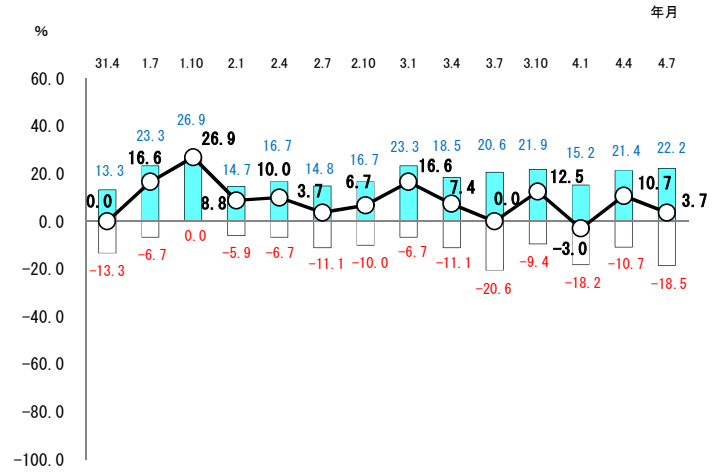
売上高



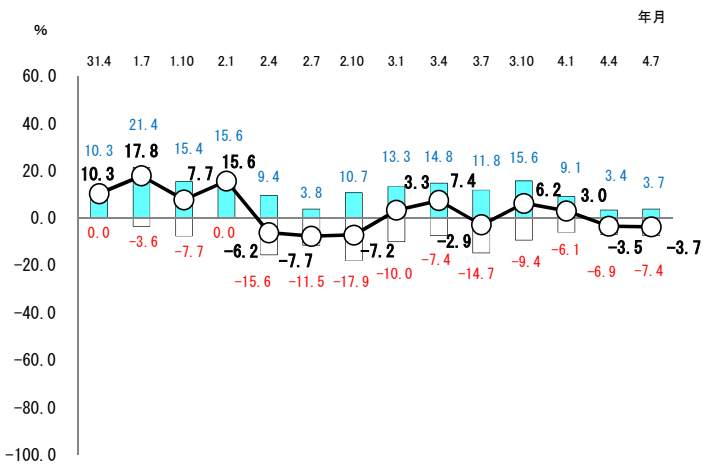
客数 (受注件数)



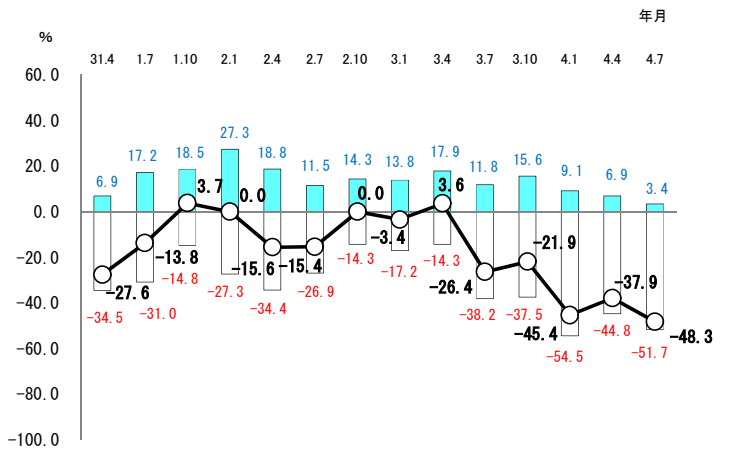
販売価格



資金繰り

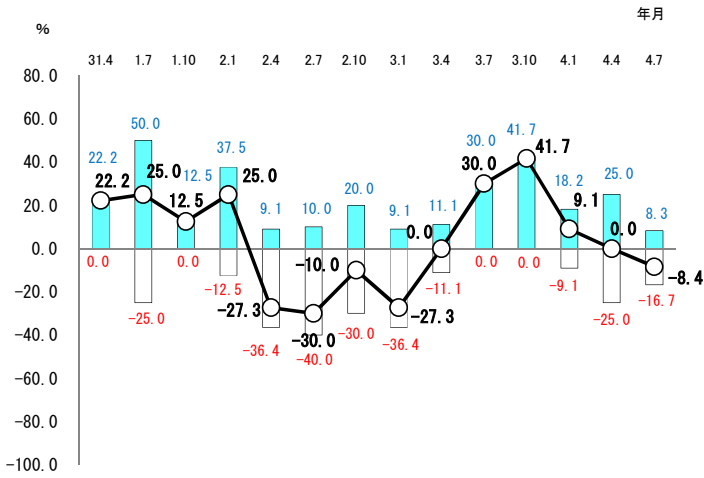


収益率

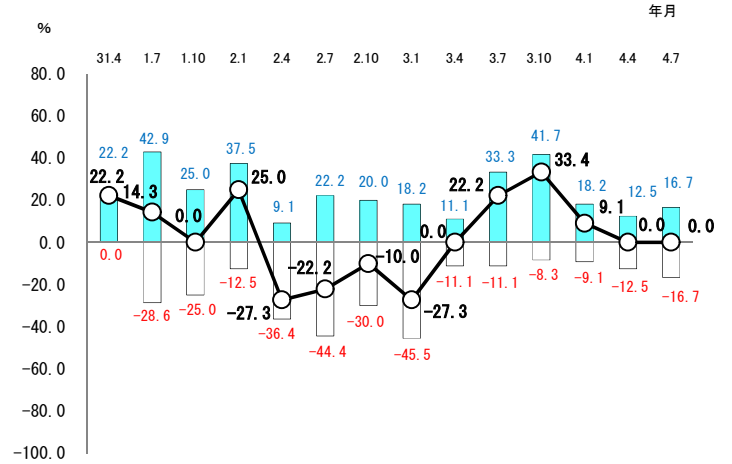


イ 情報サービス業

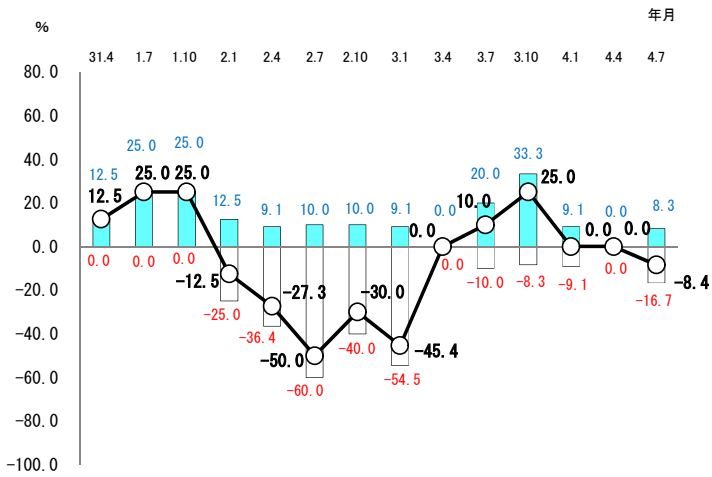
業況



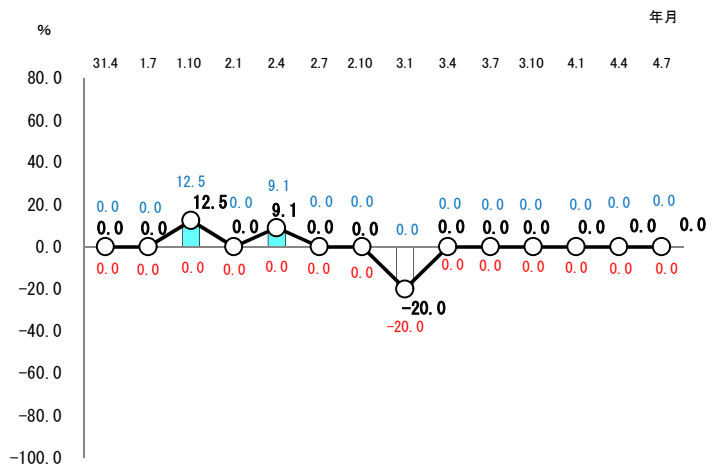
売上高



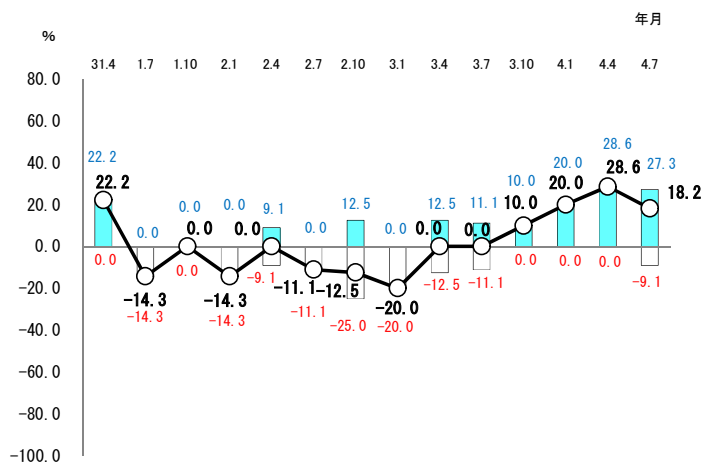
客数 (受注件数)



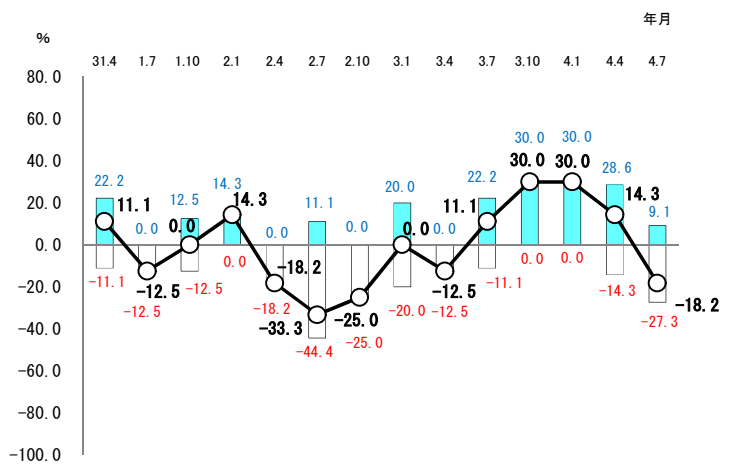
販売価格



資金繰り

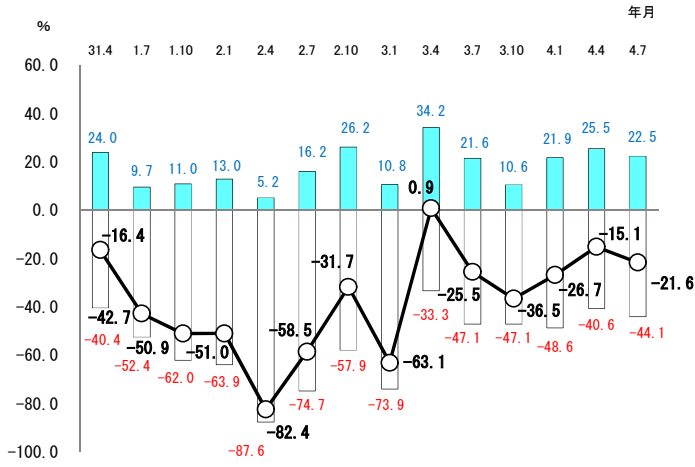


収益率

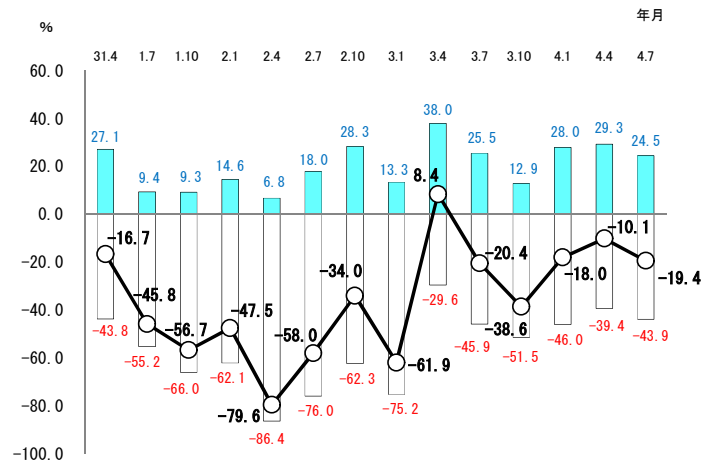


ウ 小売業

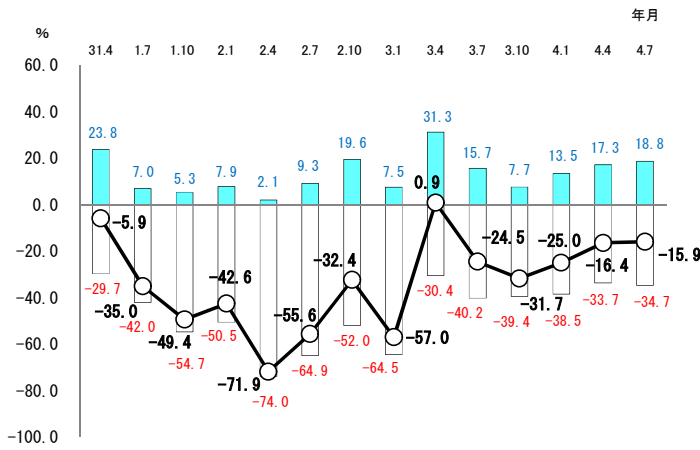
業況



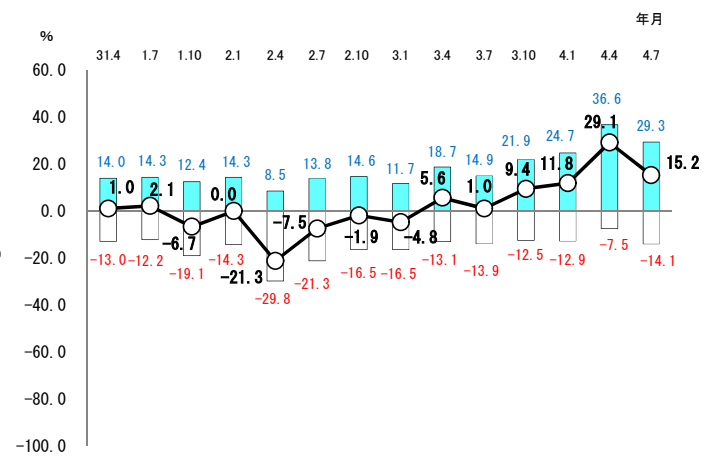
売上高



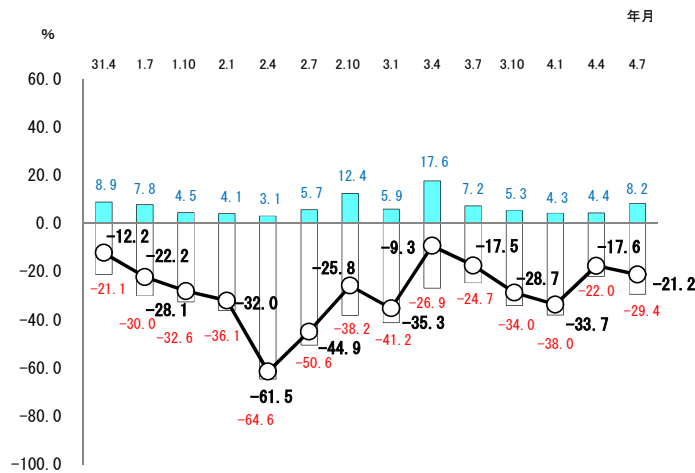
客数



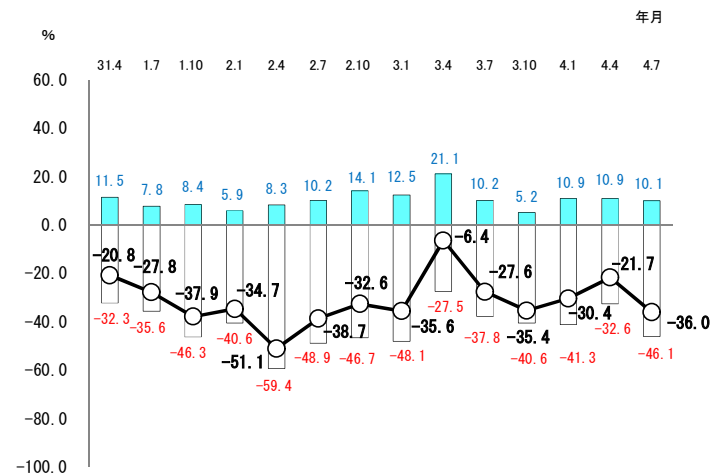
販売価格



資金繰り

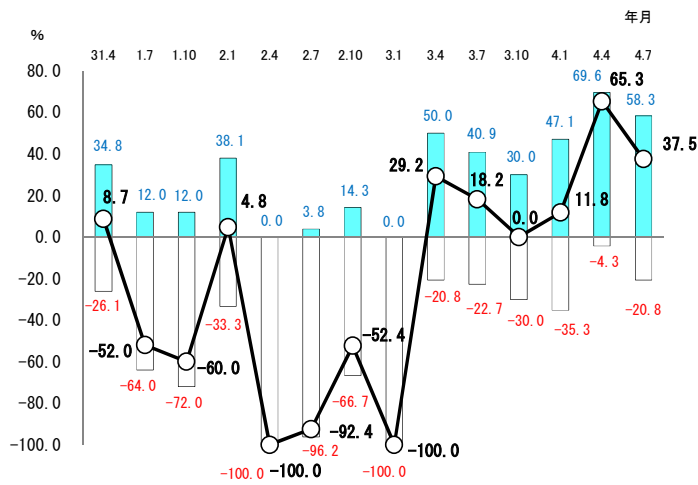


収益率

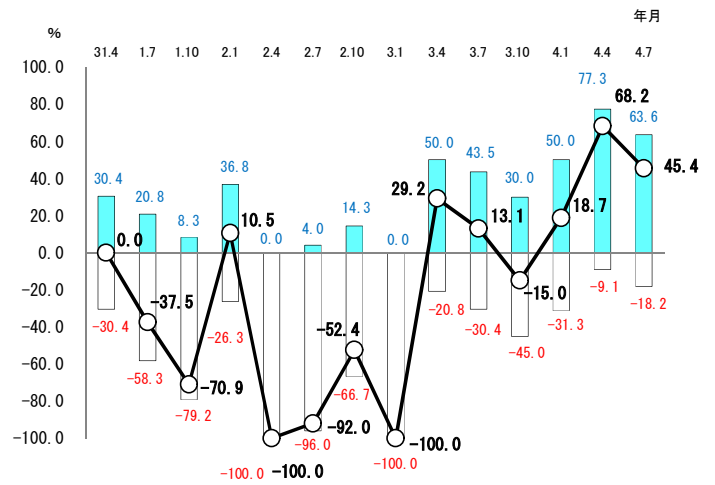


才 飲食業

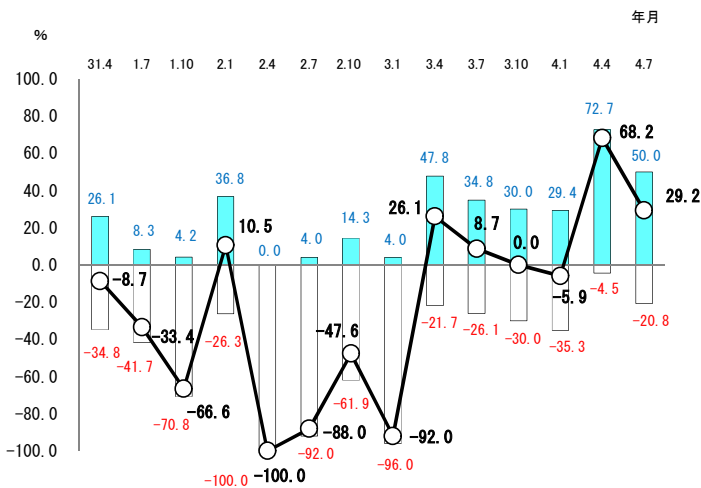
業況



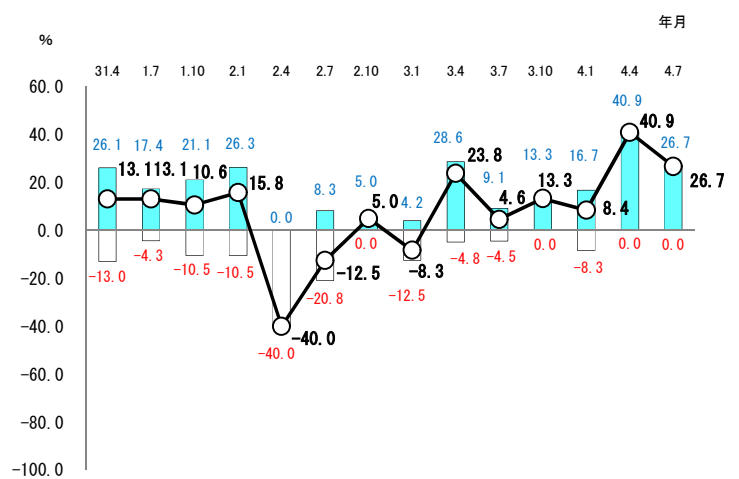
売上高



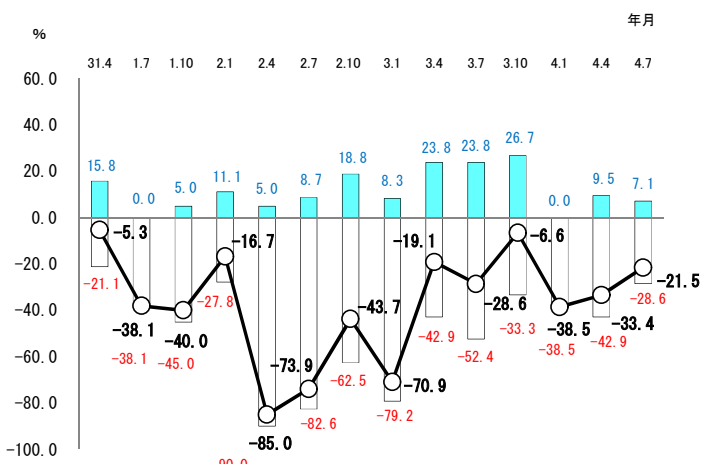
客数



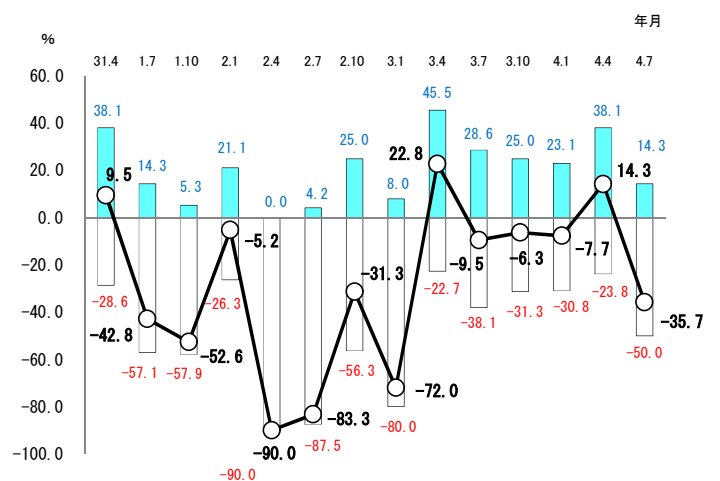
販売価格



資金繰り

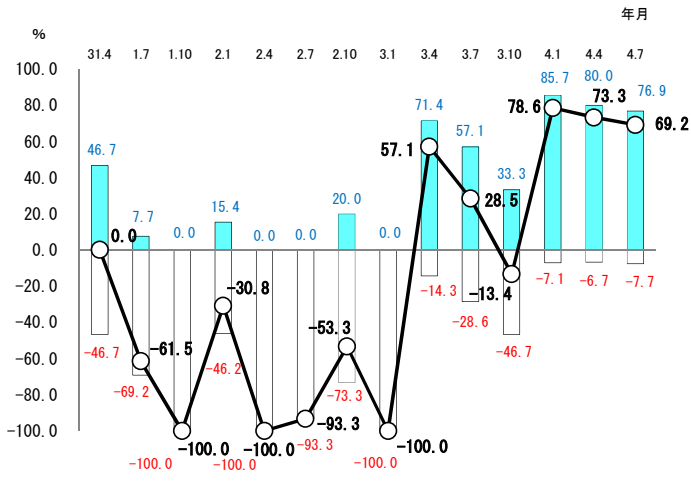


収益率

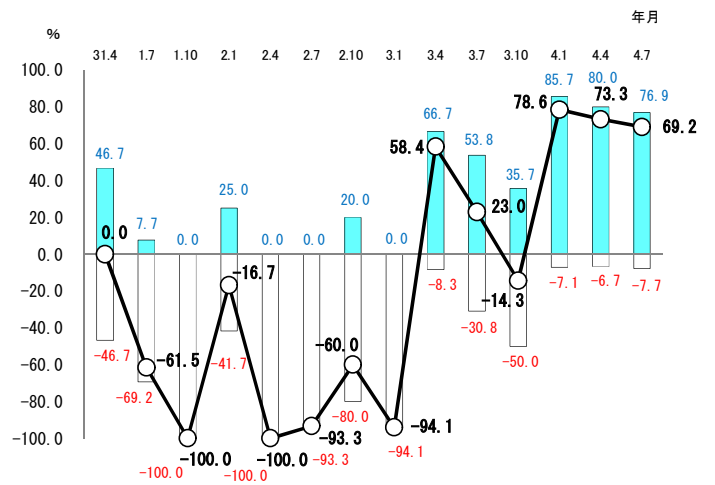


力 宿泊業

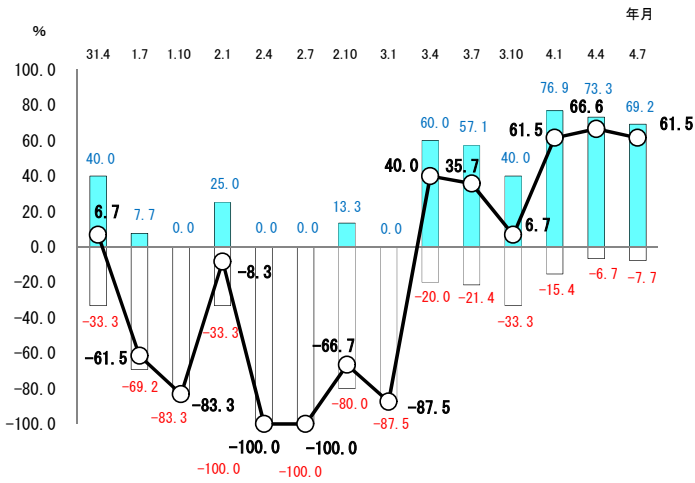
業況



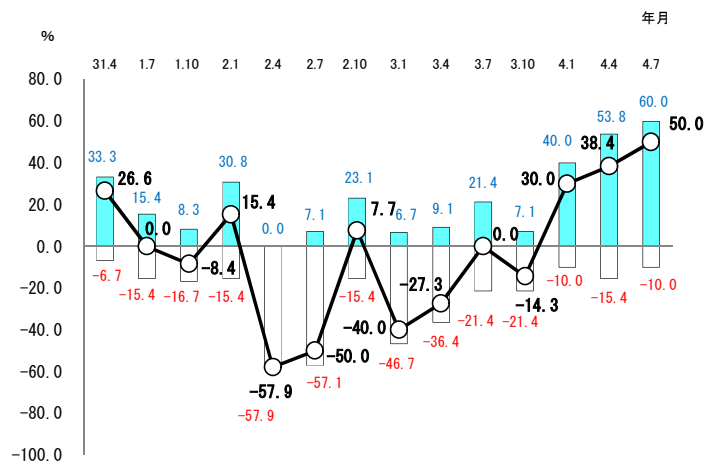
売上高



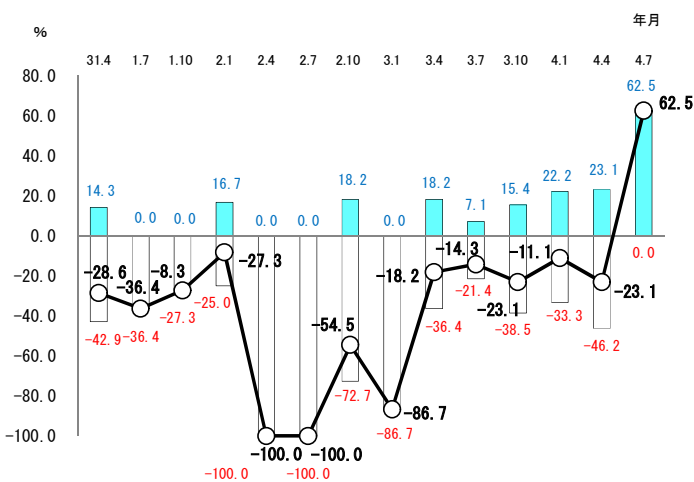
客数



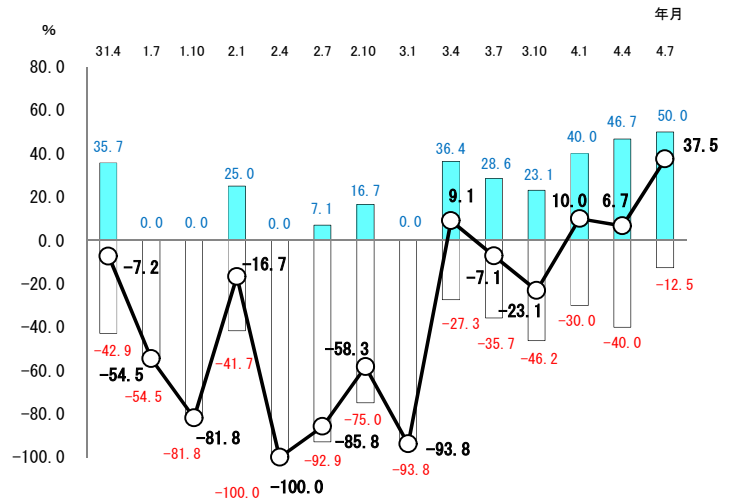
販売価格



資金繰り

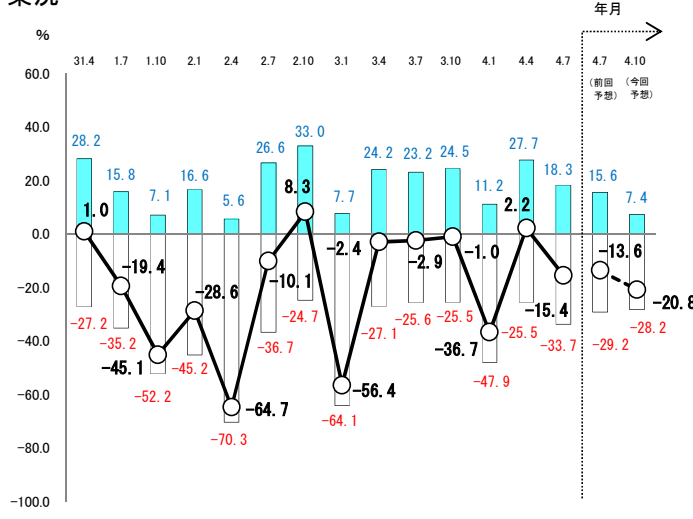


収益率

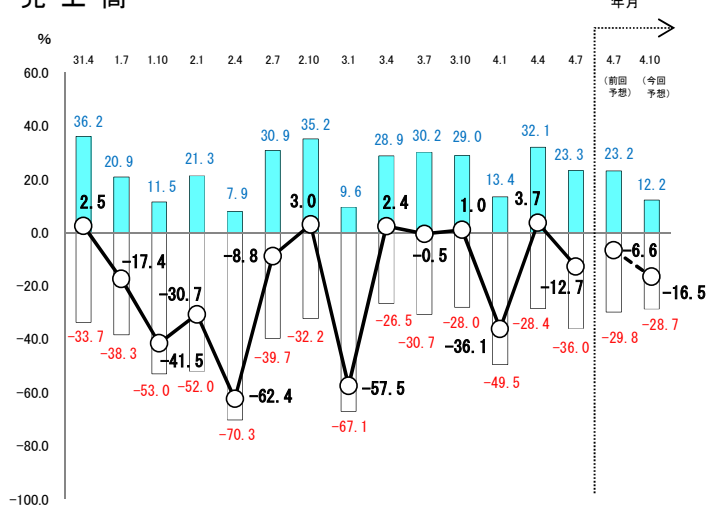


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想
非製造業全体

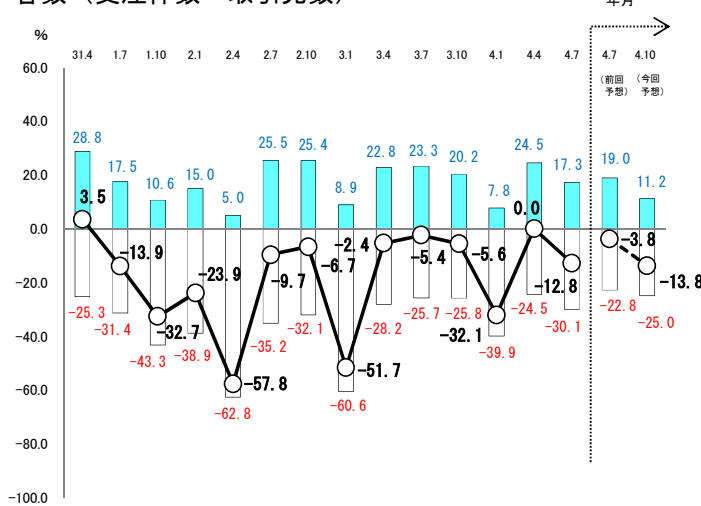
業況



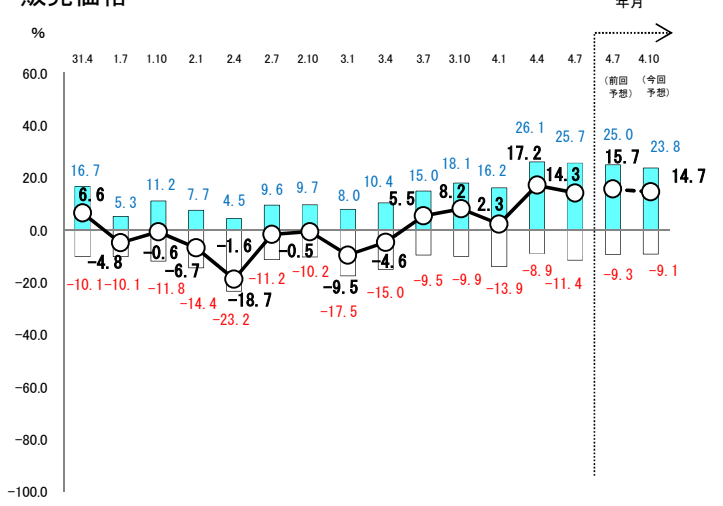
売上高



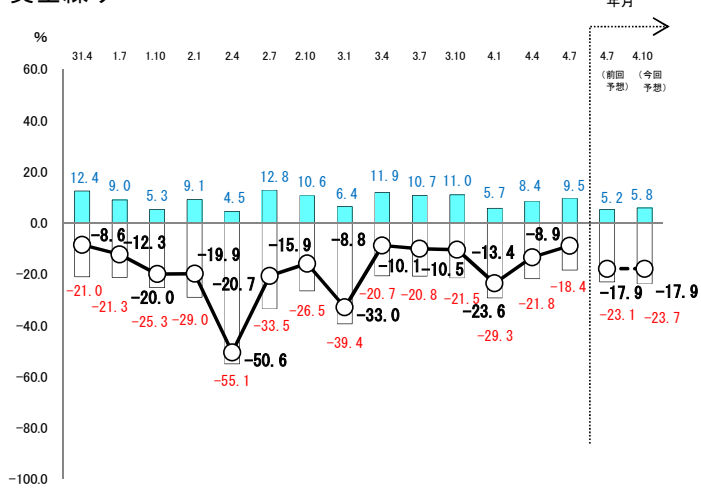
客数 (受注件数・取引先数)



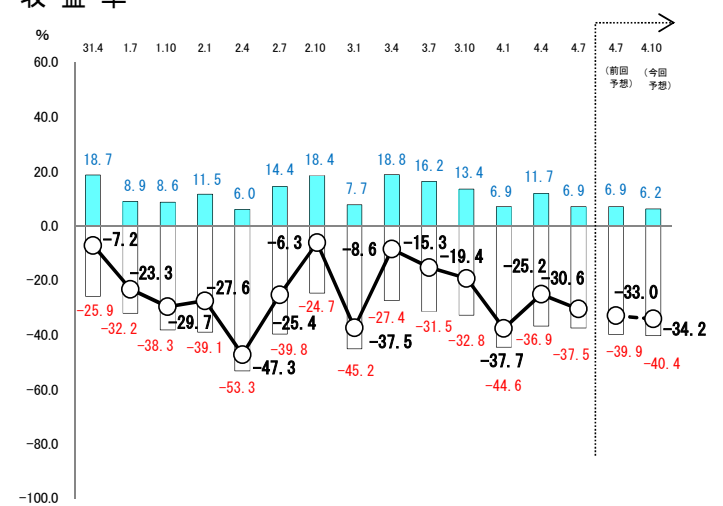
販売価格



資金繰り

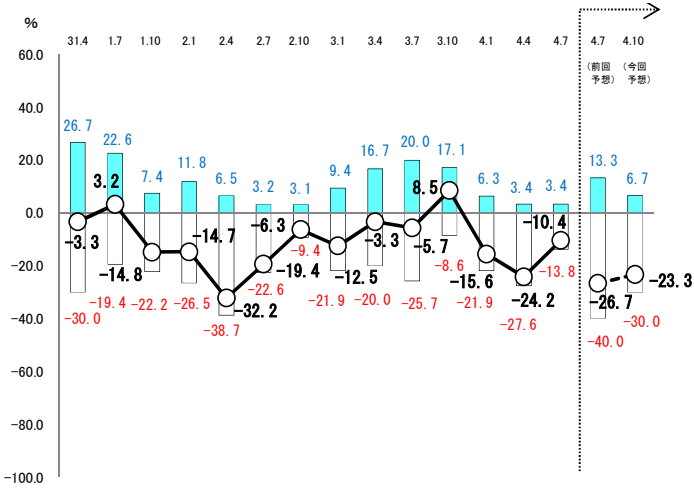


収益率

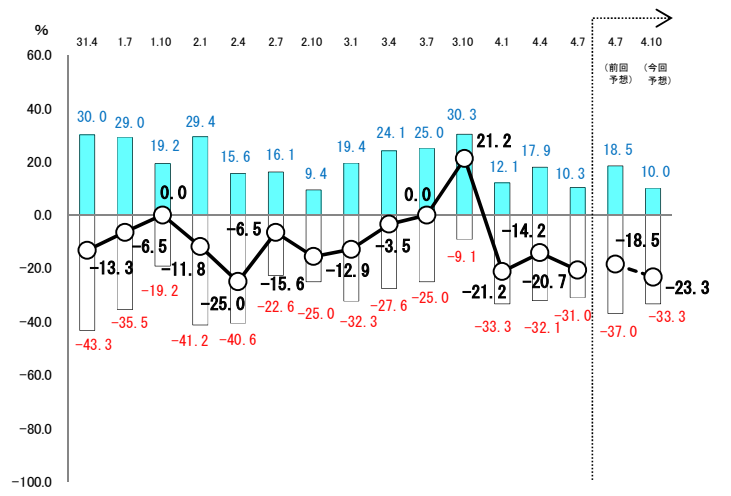


ア 建設業

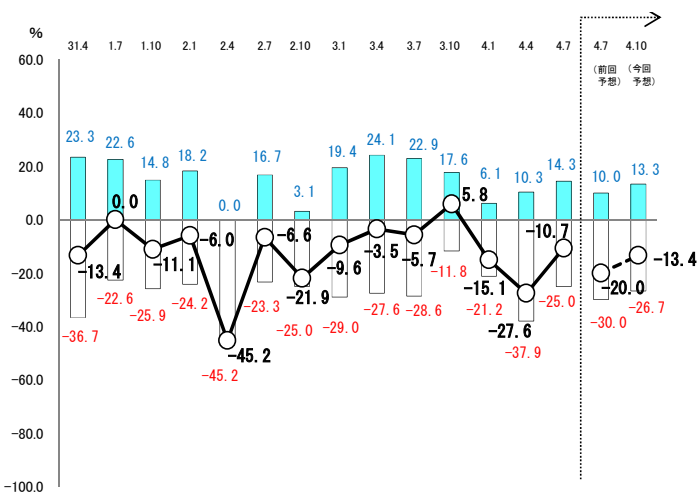
業況



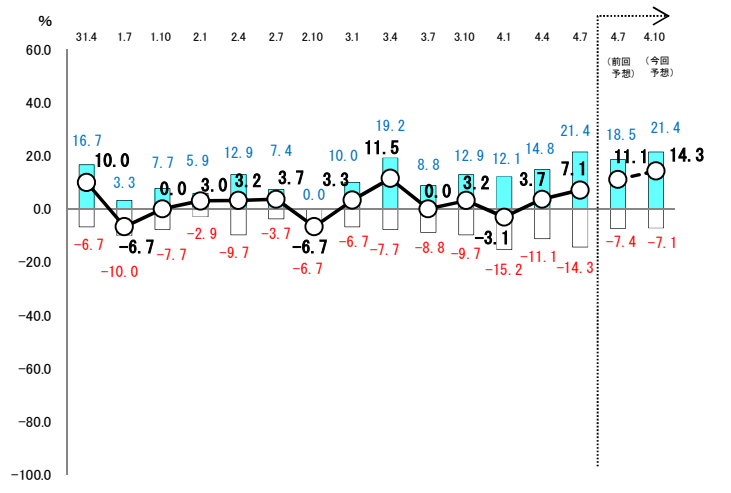
売上高



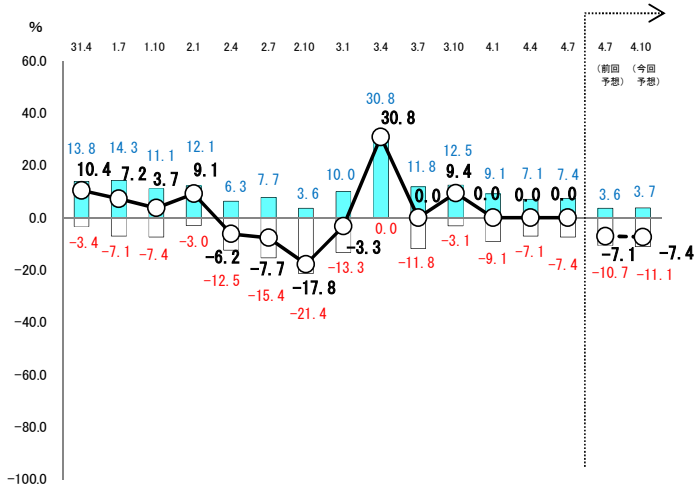
客数 (受注件数)



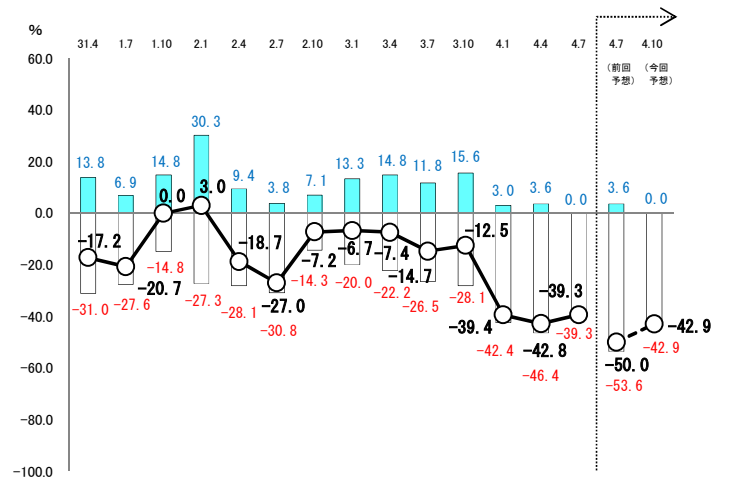
販売価格



資金繰り

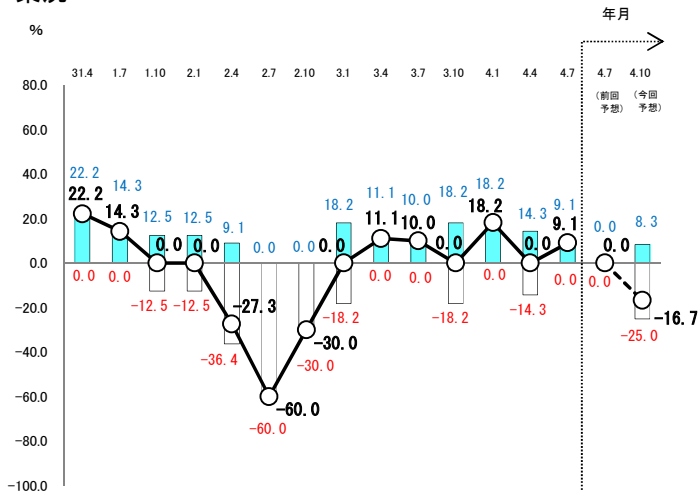


収益率

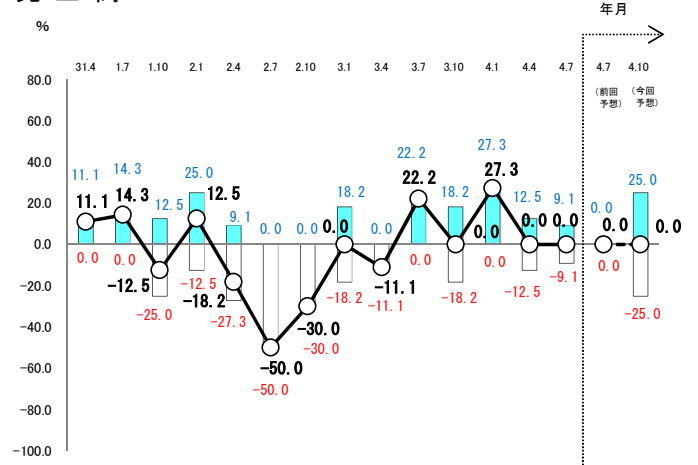


イ 情報サービス業

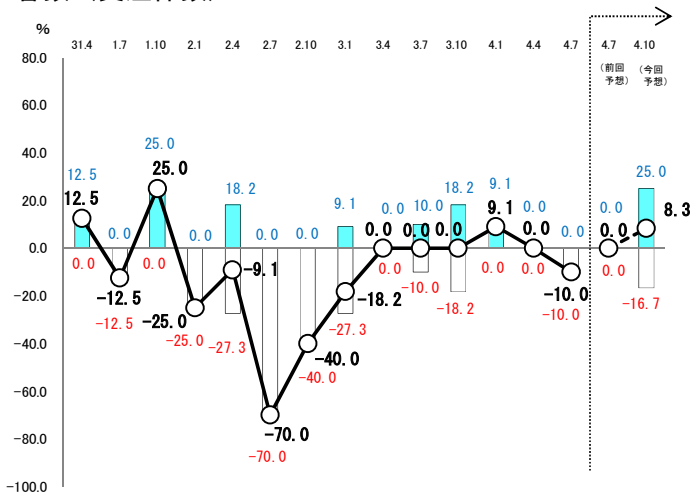
業況



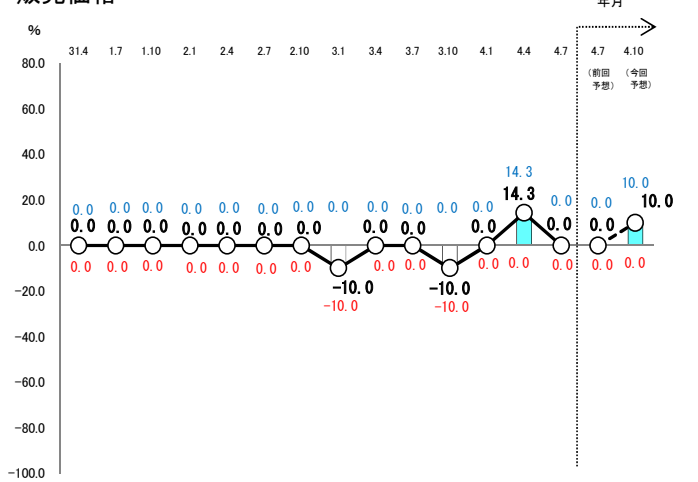
売上高



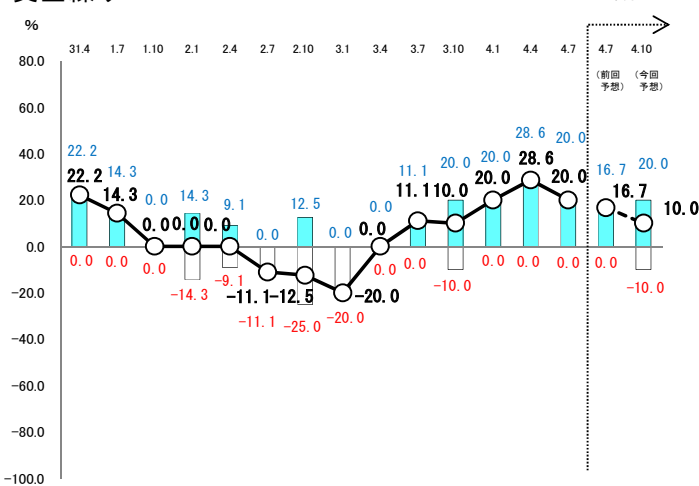
客数 (受案件数)



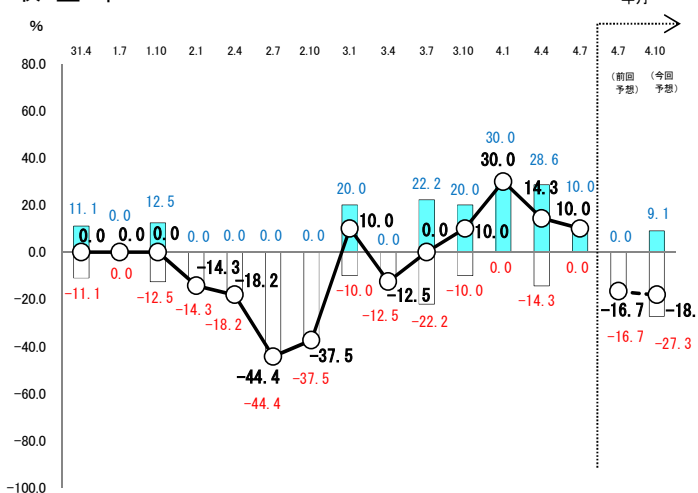
販売価格



資金繰り

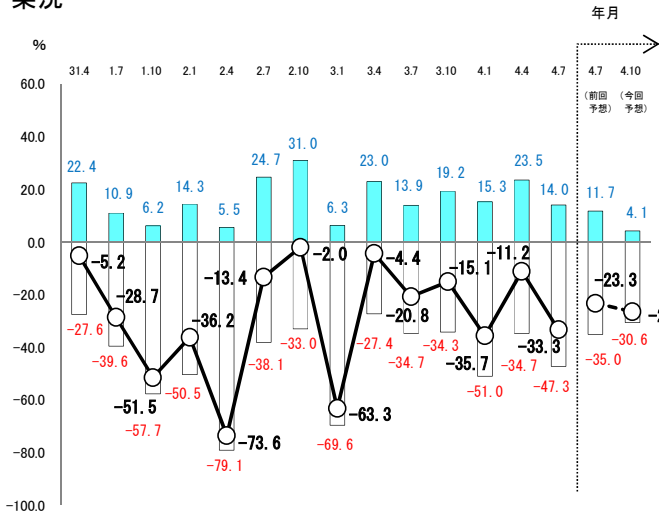


収益率

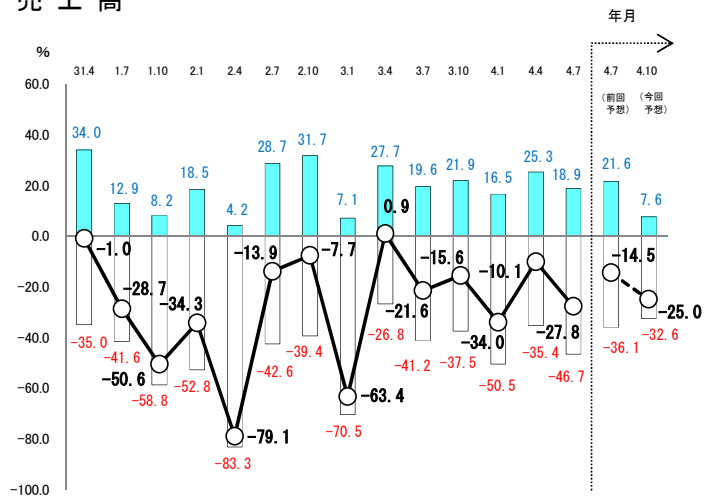


ウ 小売業

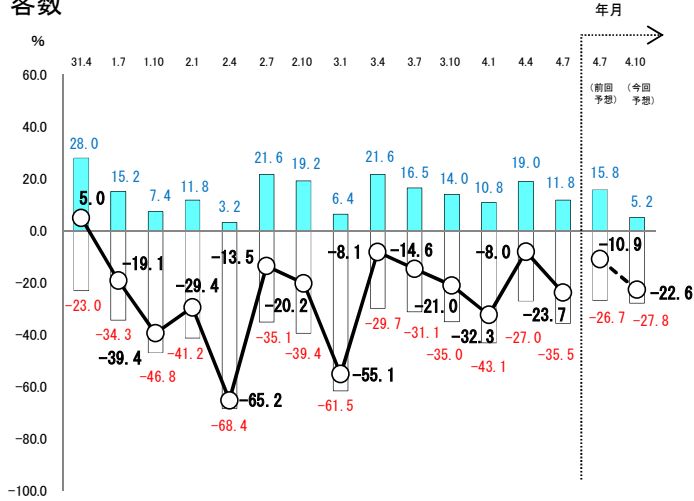
業況



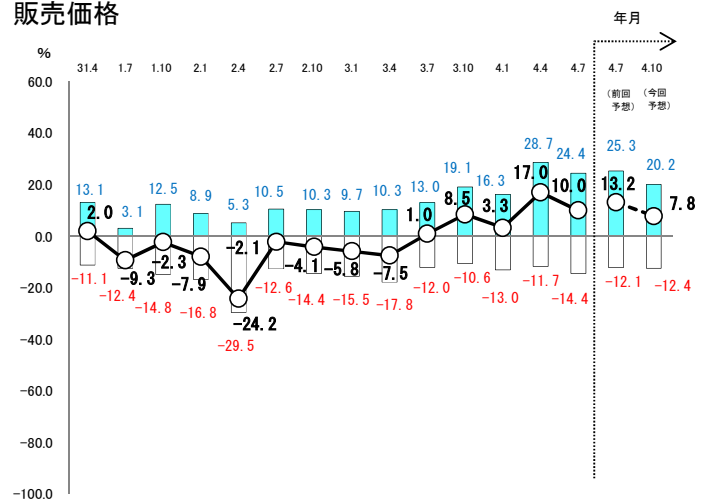
売上高



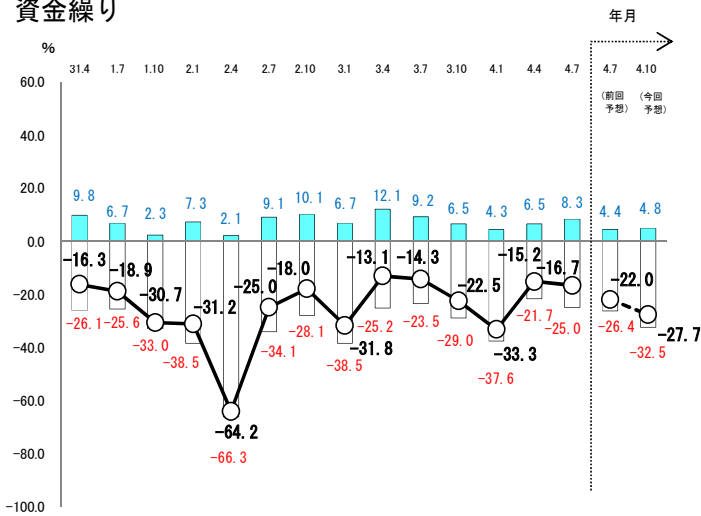
客数



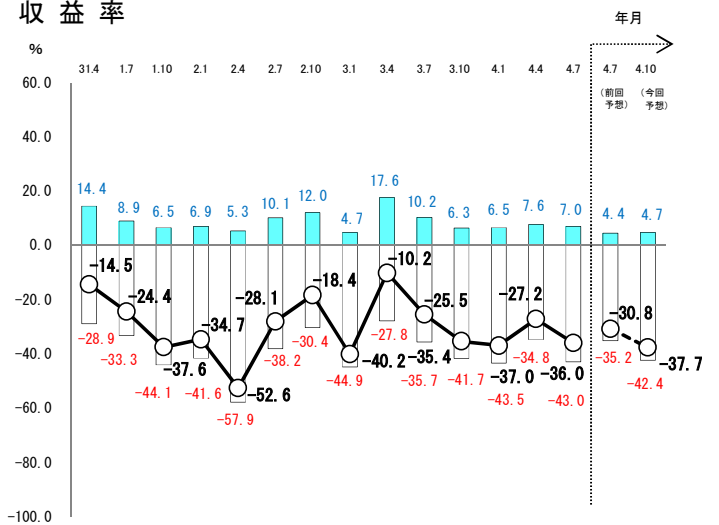
販売価格



資金繰り

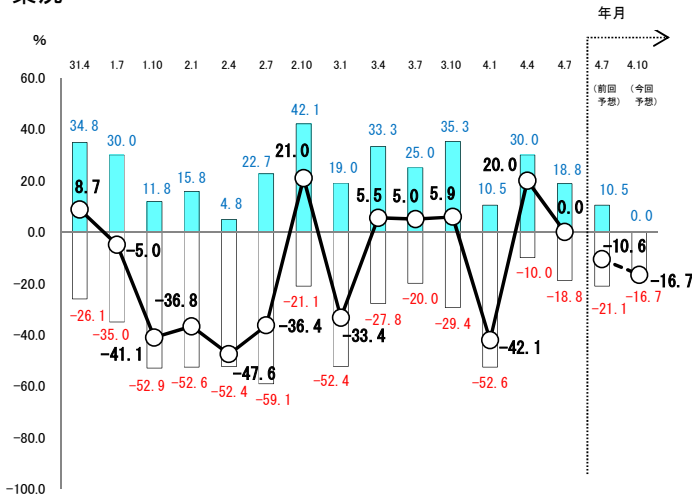


収益率

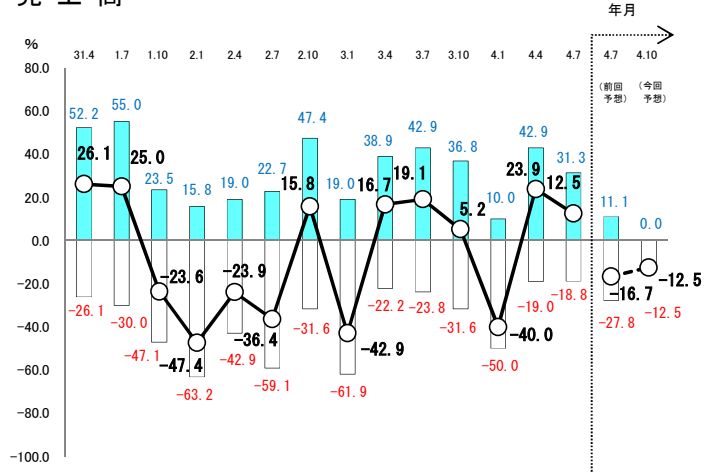


工 卸売業

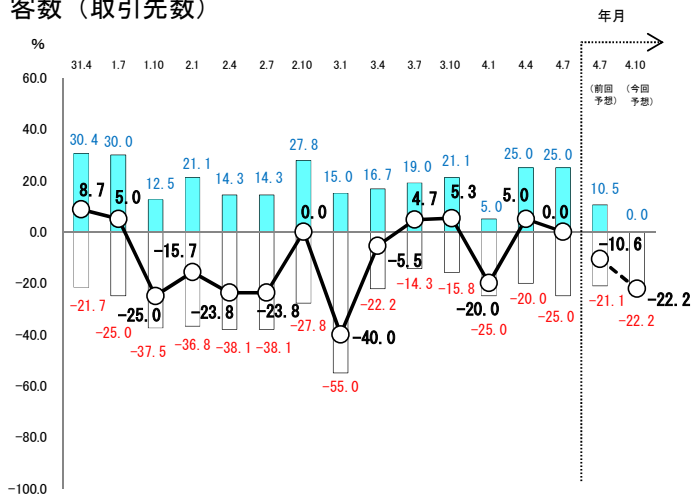
業況



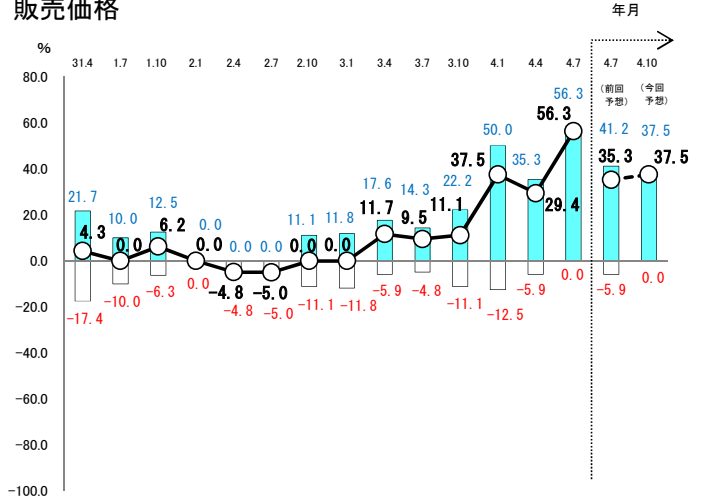
売上高



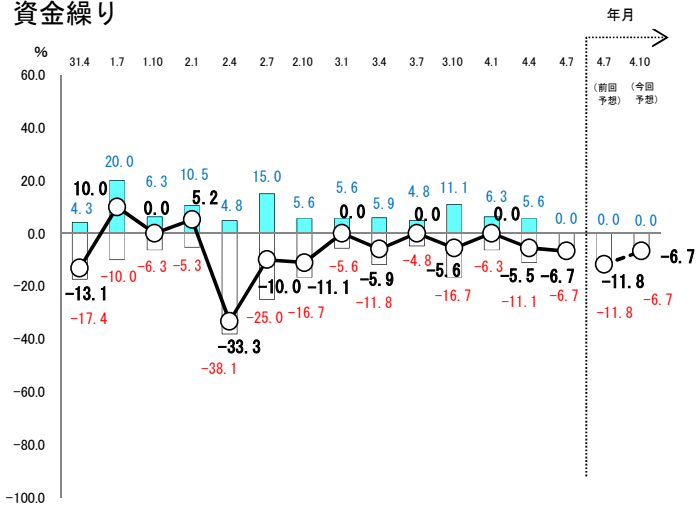
客数 (取引先数)



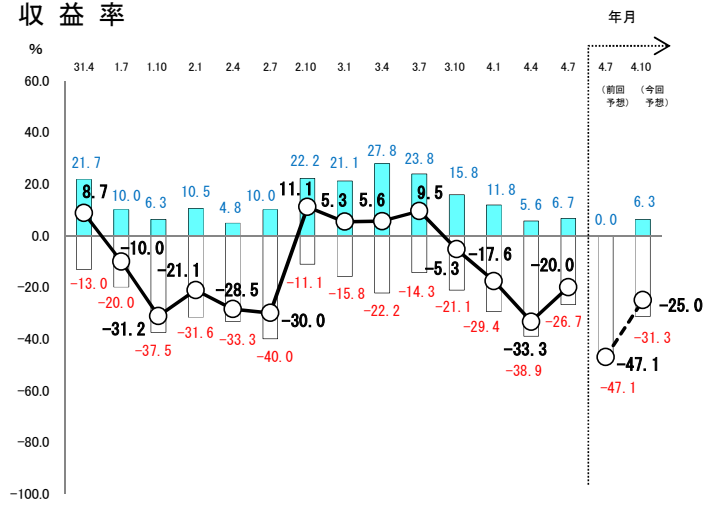
販売価格



資金繰り

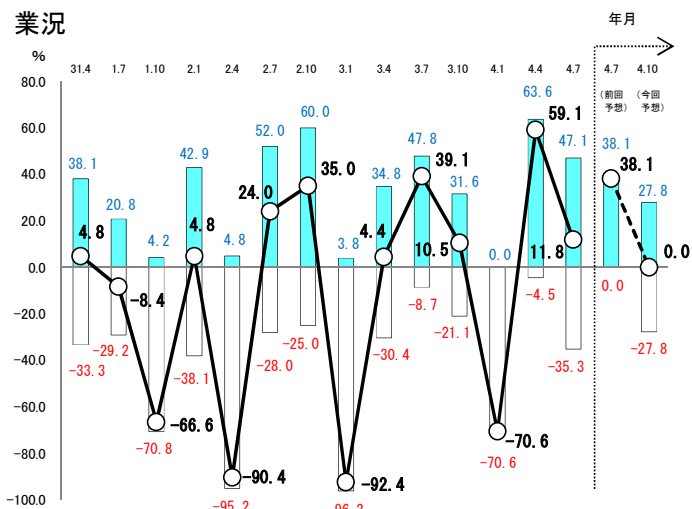


収益率

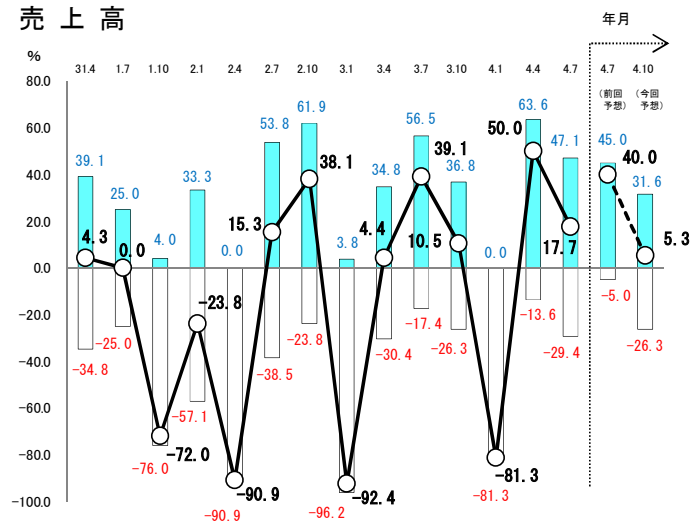


才 飲食業

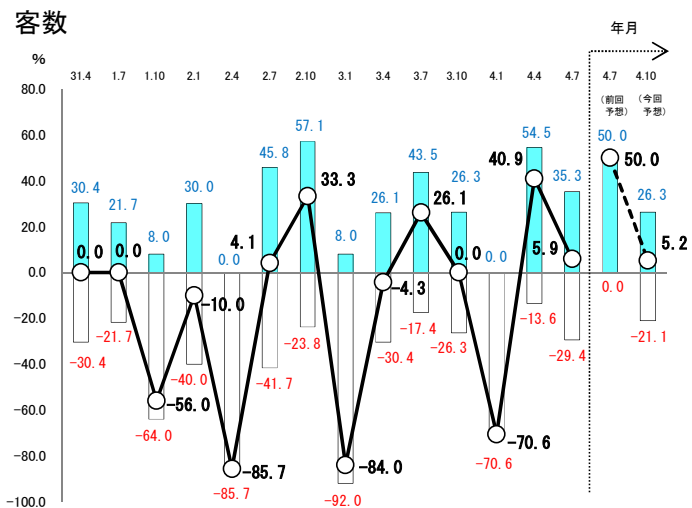
業況



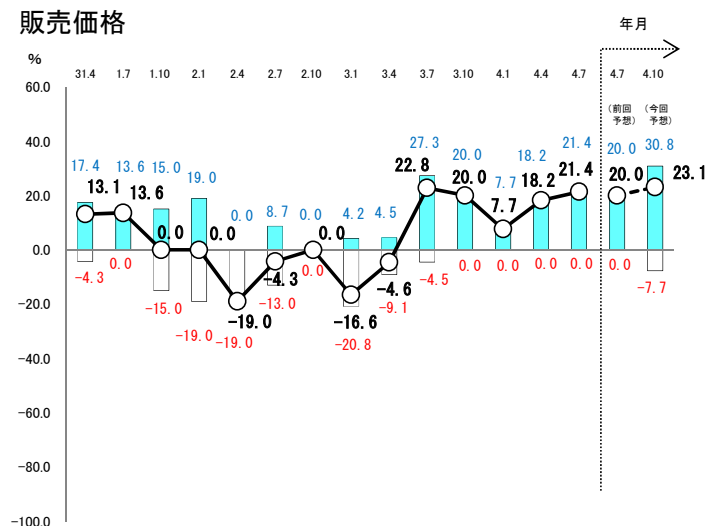
売上高



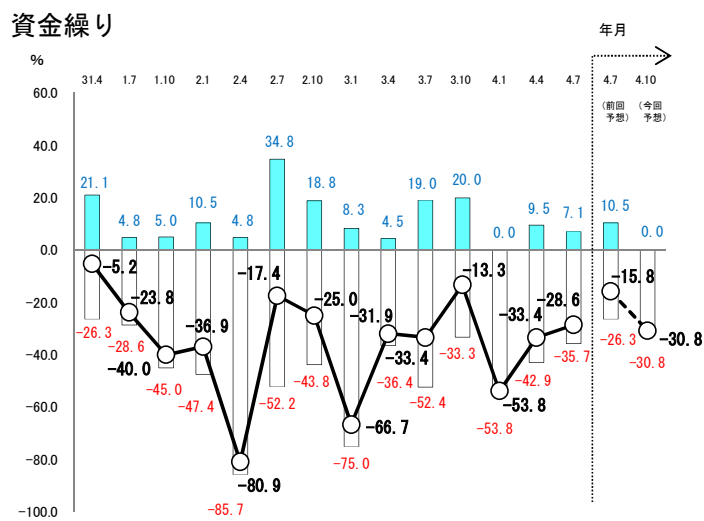
客数



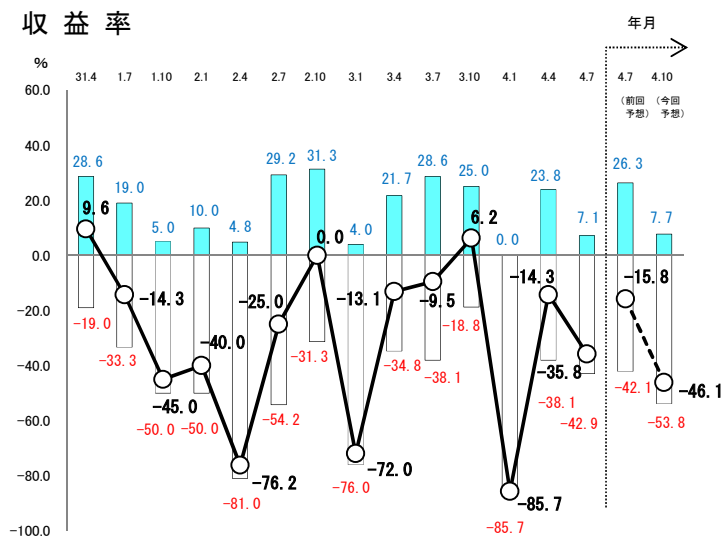
販売価格



資金繰り

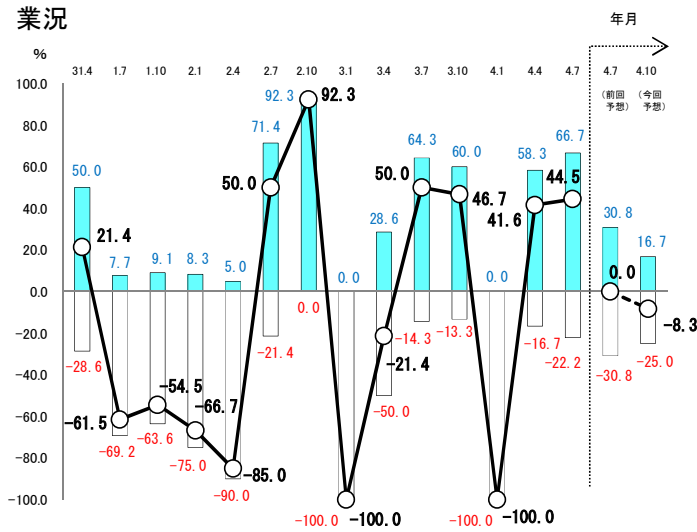


収益率

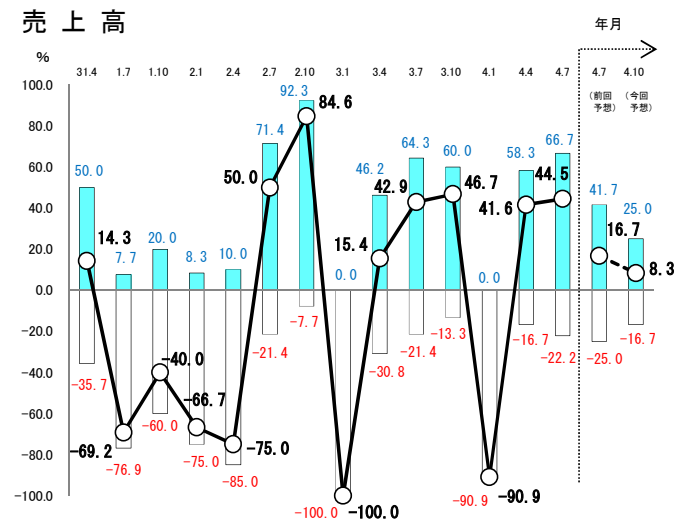


力 宿泊業

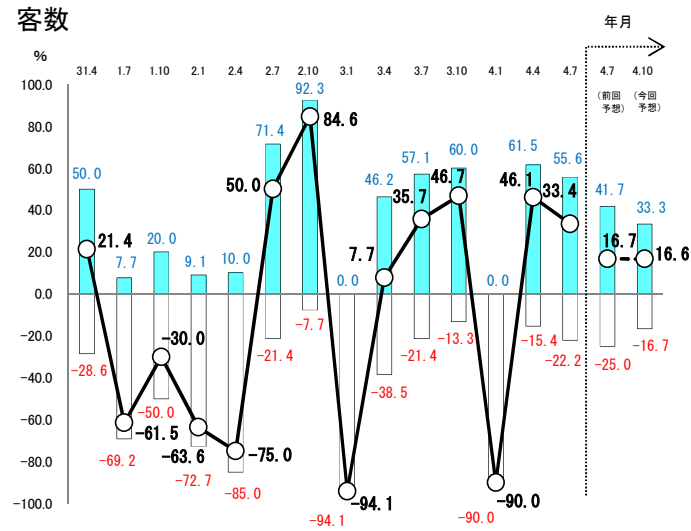
業況



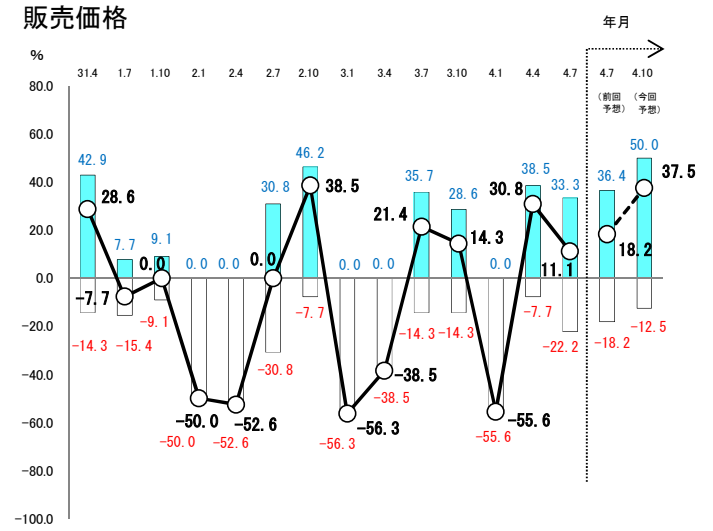
売上高



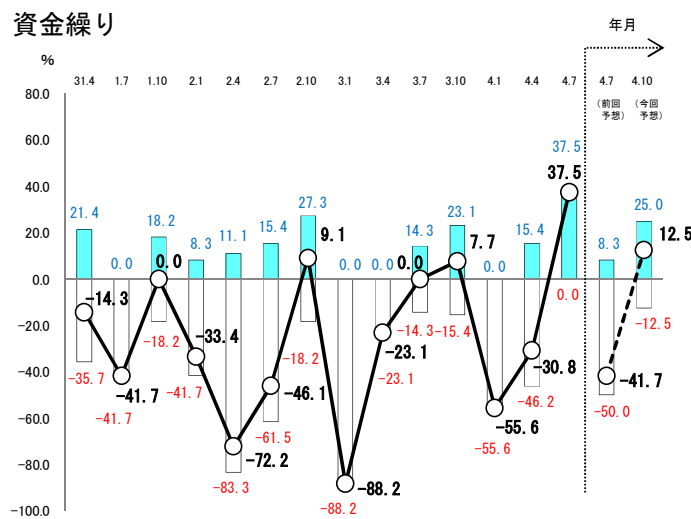
客数



販売価格



資金繰り



収益率

